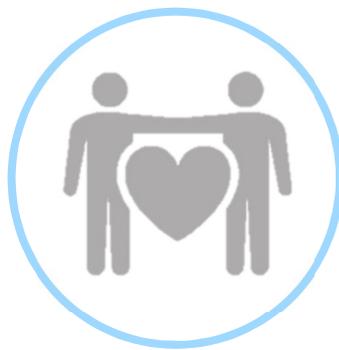
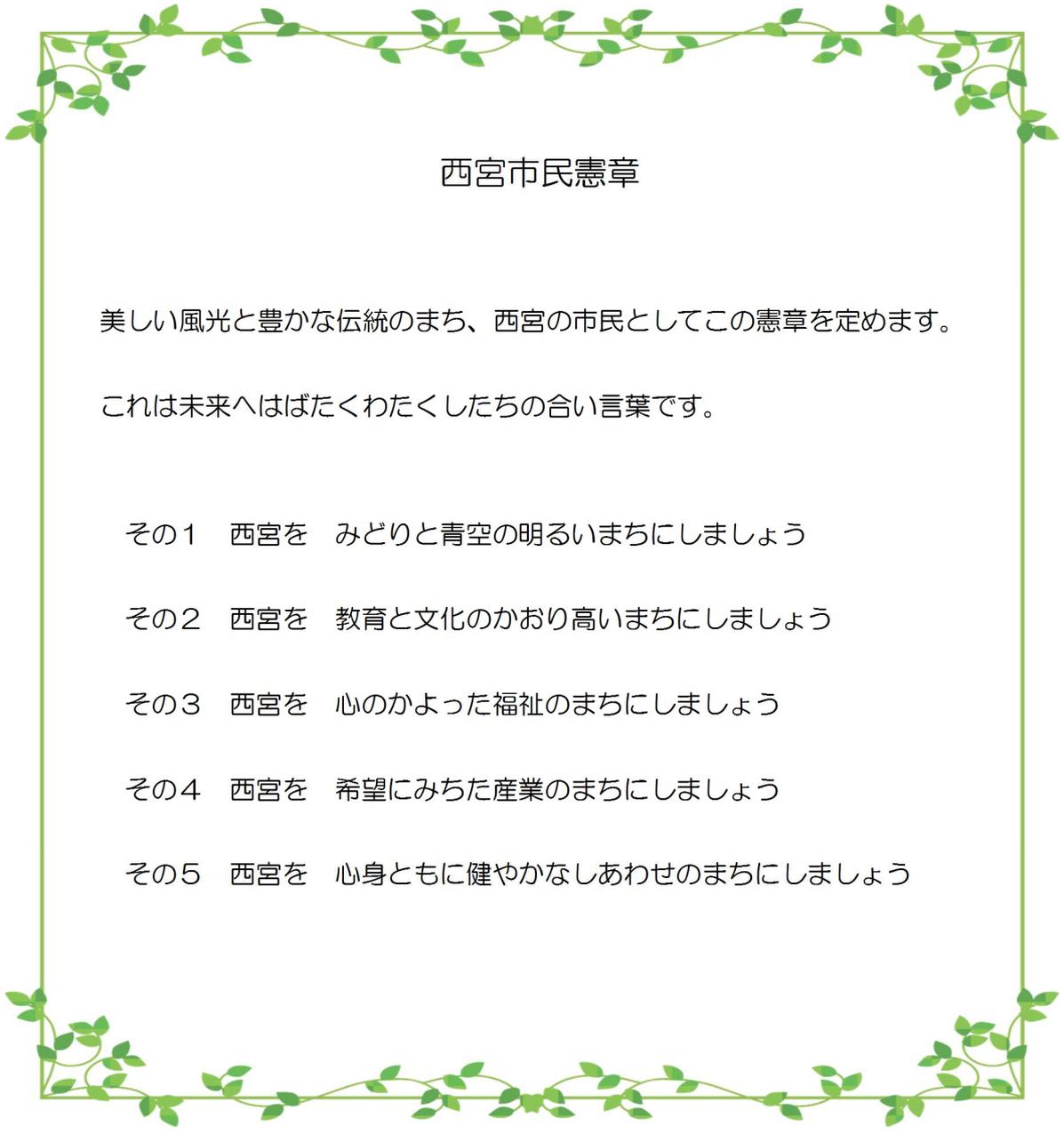


令和4年度（2022年度）

西宮市民意識調査



西宮市



西宮市民憲章

美しい風光と豊かな伝統のまち、西宮の市民としてこの憲章を定めます。

これは未来へはばたくわたくしたちの合い言葉です。

その1 西宮を みどりと青空の明るいまちにしましょう

その2 西宮を 教育と文化のかおり高いまちにしましょう

その3 西宮を 心のかよった福祉のまちにしましょう

その4 西宮を 希望にみちた産業のまちにしましょう

その5 西宮を 心身ともに健やかなしあわせのまちにしましょう

はじめに



西宮市長
石井登志郎

コロナ禍と呼ばれる期間が3年を経過しました。ワクチン接種の進展や変異株の出現など状況は刻々と変化しており、我々の生活は大きな影響を受けつつも、Withコロナ（新型コロナウイルスとの併存）を模索しながら前に進んでいると考えております。

このWithコロナを通じて、感染者数の増減、重症化率、ワクチン接種率の推移など日々状況が変化していく中で、市民の皆様がどのようなご意見を持ち、どのような情報を求めているかを把握し、これらに的確に対応し、伝えるために情報発信すること、いわゆる「広聴」と「広報」の連携の重要性を意識して市政と向き合っております。

その一環として、昨年度は残念ながら新型コロナウイルス感染症の収束が見通せず、開催を見送りました市政報告・広聴会ですが、今年度はご意見を記述式でいただく手法と、現場とオンラインとのハイブリッド方式を取り入れ、状況にあわせたスタイルで実施いたしました。

昭和29年（1954年）から継続して実施しております「市民意識調査」は、市政に対する市民の意識を把握するための重要な広聴事業のひとつです。

今年度は、「119番通報、救急車の利用について」、「西宮に対する思いについて」、「人権問題について」、「阪神・淡路大震災犠牲者追悼行事について」の4テーマについて調査を実施しました。ここにまとめました調査結果から、皆様の意識・ニーズを的確に把握し、市民満足度の高い行政運営を進めてまいります。

結びに、本調査にご協力いただきました市民の皆様、ならびに調査結果の分析をご指導いただきました関西学院大学政治行動研究センター・善教将大教授、関西学院大学・森脇俊雅名誉教授をはじめ、関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

令和5年（2023年）2月

目 次

I	調査の概要	1
1.	調査の目的	1
2.	調査の設計	1
①	調査内容	1
②	調査方法	2
3.	回収結果	2
II	配布・回収結果	3
III	調査の結果	9
	119番通報、救急車の利用について	9
	施策に向けての一言 <119番通報、救急車の利用について>	23
	西宮に対する思いについて	24
	施策に向けての一言 <西宮に対する思いについて>	43
	人権問題について	44
	施策に向けての一言 <人権問題について>	57
	阪神・淡路大震災犠牲者追悼行事について	58
	施策に向けての一言 <阪神・淡路大震災犠牲者追悼行事について>	69
IV	自由意見	71
V	使用した調査票	77

I 調査の概要

I 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、市政に対する市民の意識とその動向を把握するとともに、積極的に「市民の声」を聴き、今後の施策策定並びに市政運営上の基礎資料とするため、毎年実施している。

2. 調査の設計

① 調査内容

回答者の属性 (フェイスシート)	問 1 居住するコミュニティ	問 6 同居家族の構成
	問 2 性別	問 7 住まいの種別
	問 3 年齢	問 8 市内居住年数
	問 4 職業	問 9 現住所居住年数
	問 5 同居家族の人数	問 10 暮らし向き
119番通報、 救急車の利用に ついて	問 11 119番通報はどのようなときに利用するものだと思うか 問 12 救急車を呼んだ経験 問 13 救急車を呼んだ理由 問 14 救急車を呼ぶべきか迷った経験 問 15 救急車を呼ぶべきか迷ったときにとった行動 問 16 急な病気やケガをした時の相談・連絡先で知っているもの	
西宮に対する 思いについて	問 17 西宮の魅力の推奨度 問 18 西宮の活動や行事への参加意欲 問 19 問 18で「0～5」と回答した理由 問 20 西宮でまちをよくするために活動している人たちへの感謝度 問 21 市の広報媒体の利用頻度	
人権問題について	問 22 身の回りで人権が尊重されていると思うか 問 23 関心を持っている人権問題 問 24 インターネット・SNSを悪用した人権侵害で関心のあるもの 問 25 効果的な人権啓発活動 問 26 見聞きしたことのある人権侵害	
阪神・淡路大震災 犠牲者追悼行事に ついて	問 27 「震災追悼行事」の望ましい実施頻度 問 28 「震災追悼行事」の望ましい実施場所 問 29 「震災追悼行事」の望ましい開始時間 問 30 「震災追悼行事」の内容で必要だと思うもの 問 31 パンデミックや大規模災害発生時などの「震災追悼行事」の実施	
自由意見（記述式）		

※本報告書では、問 11～31 を分析対象とした。問 1～10 は「属性別回収結果」として全体値のグラフを掲載している。

② 調査方法

調査地域：市内全域

調査対象：令和4年（2022年）8月1日現在の住民基本台帳に登録されている18歳以上の市民（外国人住民含む）

抽出方法：系統的無作為抽出（コンピューターによる等間隔抽出）

配布数：3,500

調査方法：郵送法（調査票の配布・回収はすべて郵送による）

調査期間：令和4年（2022年）9月1日～9月30日

3. 回収結果

調査対象者数：3,500（昨年度 3,500）

回収数：1,866（昨年度 2,019）

有効回収数：1,865（昨年度 2,019）

有効回収率：53.3%（昨年度 57.7%）

※有効回収数とは、回収数から白票などの無効票を除いた数

Ⅱ 配布・回収結果

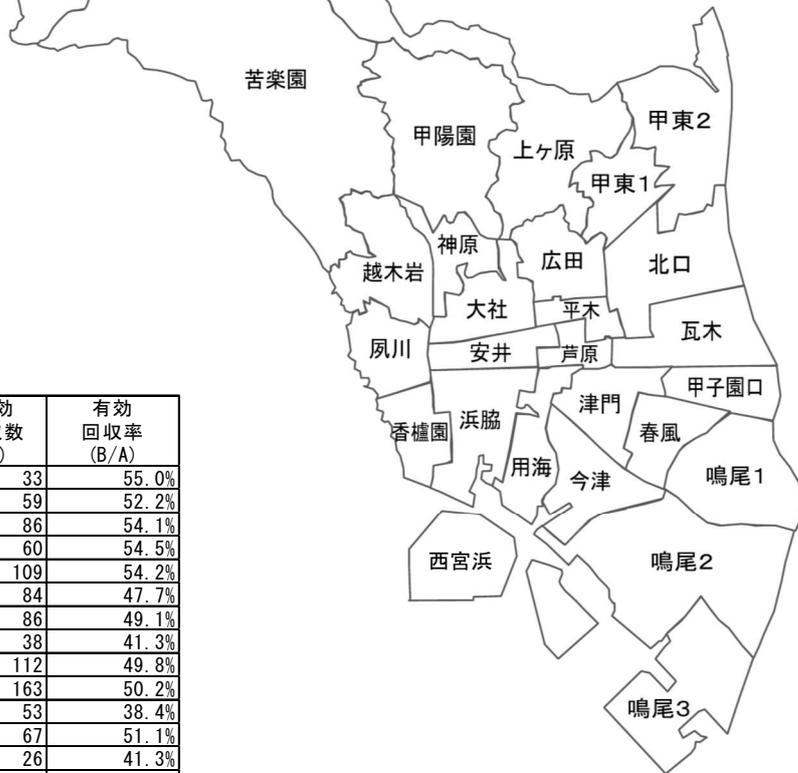
- アンケート配布・回収結果における回答数 n (number of cases の略) は、設問に対する有効回答者数を意味している。
- 各選択肢の構成比 (%) は、小数点第 2 位以下を四捨五入しているため、構成比の合計が 100%にならない場合がある。
- 凡例における「無回答」には、択一式の設問に対して複数回答している場合など、回答はあるが無効となったものも含んでいる。

II 配布・回収結果

■西宮市地域コミュニティ 町別エリア一覧と回収結果



コミュニティ	調査対象者数 (A)	有効回収数 (B)	有効回収率 (B/A)
香櫨園	92	45	48.9%
浜脇	161	74	46.0%
用海	90	32	35.6%
津門	105	56	53.3%
春風	109	60	55.0%
今津	114	54	47.4%
夙川	83	48	57.8%
越木岩	135	74	54.8%
苔楽園	56	24	42.9%
安井	88	38	43.2%
大社	98	57	58.2%
神原	64	32	50.0%
甲陽	118	65	55.1%
芦原	46	24	52.2%



コミュニティ	調査対象者数 (A)	有効回収数 (B)	有効回収率 (B/A)
平木	60	33	55.0%
広田	113	59	52.2%
上ヶ原	159	86	54.1%
甲東1	110	60	54.5%
甲東2	201	109	54.2%
北口	176	84	47.7%
瓦木	175	86	49.1%
甲子園口	92	38	41.3%
鳴尾1	225	112	49.8%
鳴尾2	325	163	50.2%
鳴尾3	138	53	38.4%
名塩	131	67	51.1%
生瀬	63	26	41.3%
山口	122	64	52.5%
西宮浜	51	27	52.9%

※コミュニティ不明 : 115 人

■年代別回収結果

	調査 対象者数 (A)	有効 回収数 (B)	有効 回収率 (B/A)
総数	3,500	1,865	53.3%
18～19歳	105	31	29.5%
20～29歳	400	118	29.5%
30～39歳	451	182	40.4%
40～49歳	627	317	50.6%
50～59歳	639	363	56.8%
60～69歳	454	315	69.4%
70～79歳	492	340	69.1%
80歳以上	332	189	56.9%
不明	—	10	—

■性別・年代別回収結果

男性	調査 対象者数 (A)	有効 回収数 (B)	有効 回収率 (B/A)
総数	1,609	686	42.6%
18～19歳	56	14	25.0%
20～29歳	200	46	23.0%
30～39歳	210	67	31.9%
40～49歳	307	103	33.6%
50～59歳	307	133	43.3%
60～69歳	209	123	58.9%
70～79歳	207	134	64.7%
80歳以上	113	65	57.5%
不明	—	1	—

女性	調査 対象者数 (A)	有効 回収数 (B)	有効 回収率 (B/A)
総数	1,891	1,080	57.1%
18～19歳	49	16	32.7%
20～29歳	200	66	33.0%
30～39歳	241	100	41.5%
40～49歳	320	192	60.0%
50～59歳	332	216	65.1%
60～69歳	245	178	72.7%
70～79歳	285	194	68.1%
80歳以上	219	113	51.6%
不明	—	5	—

	性別	
	その他	無回答
総数	1	98
18～19歳	—	1
20～29歳	1	5
30～39歳	—	15
40～49歳	—	22
50～59歳	—	14
60～69歳	—	14
70～79歳	—	12
80歳以上	—	11
不明	—	4

■属性別回収結果（性・年代以外は、n=1,865）

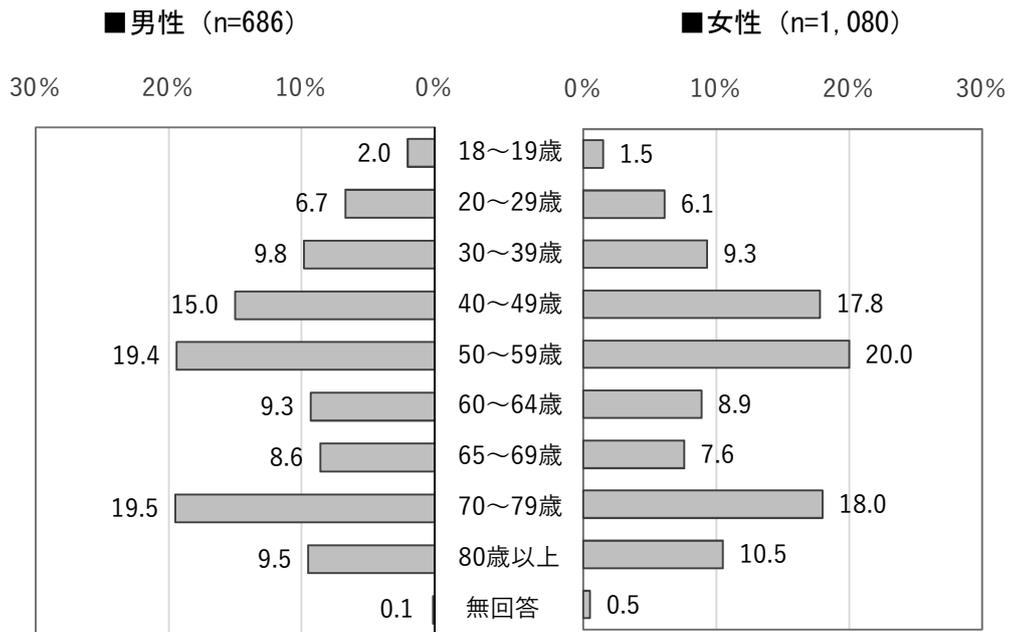
●コミュニティ

コミュニティ	%
香櫨園	2.4
浜脇	4.0
用海	1.7
津門	3.0
春風	3.2
今津	2.9
夙川	2.6
越木岩	4.0
苦楽園	1.3
安井	2.0

コミュニティ	%
大社	3.1
神原	1.7
甲陽	3.5
芦原	1.3
平木	1.8
広田	3.2
上ヶ原	4.6
甲東1	3.2
甲東2	5.8
北口	4.5

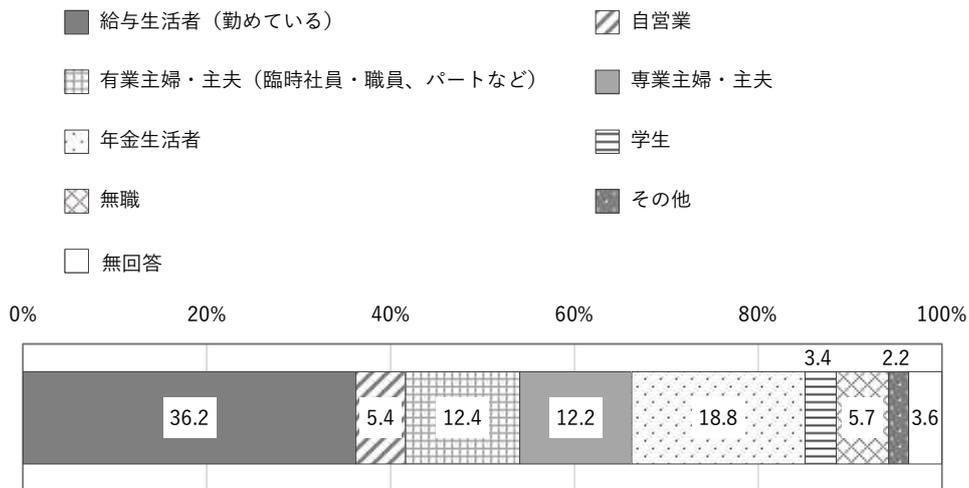
コミュニティ	%
瓦木	4.6
甲子園口	2.0
鳴尾1	6.0
鳴尾2	8.7
鳴尾3	2.8
名塩	3.6
生瀬	1.4
山口	3.4
西宮浜	1.4
無回答	6.2
合計	100.0

●性・年代



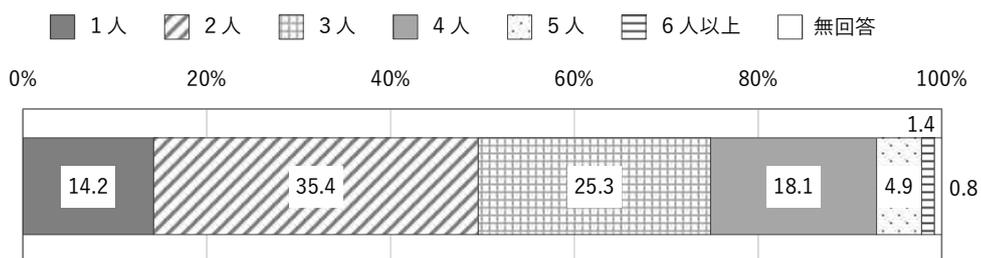
●職業

(n=1,865)



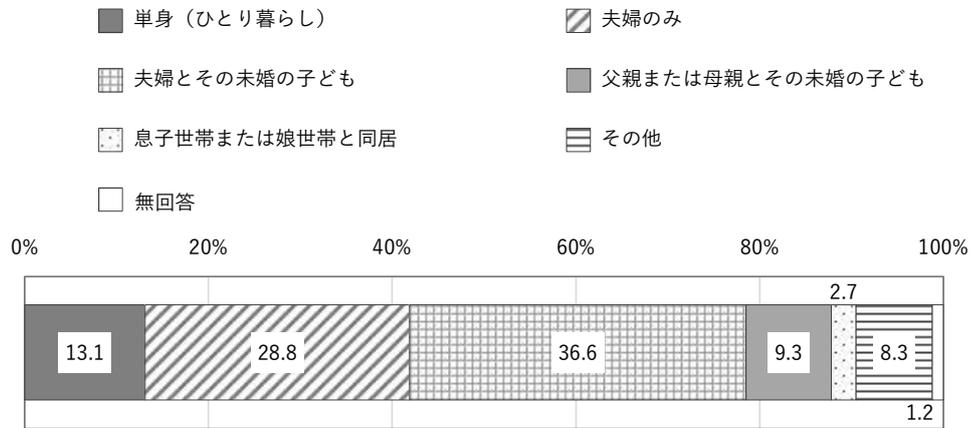
●同居家族人数

(n=1,865)



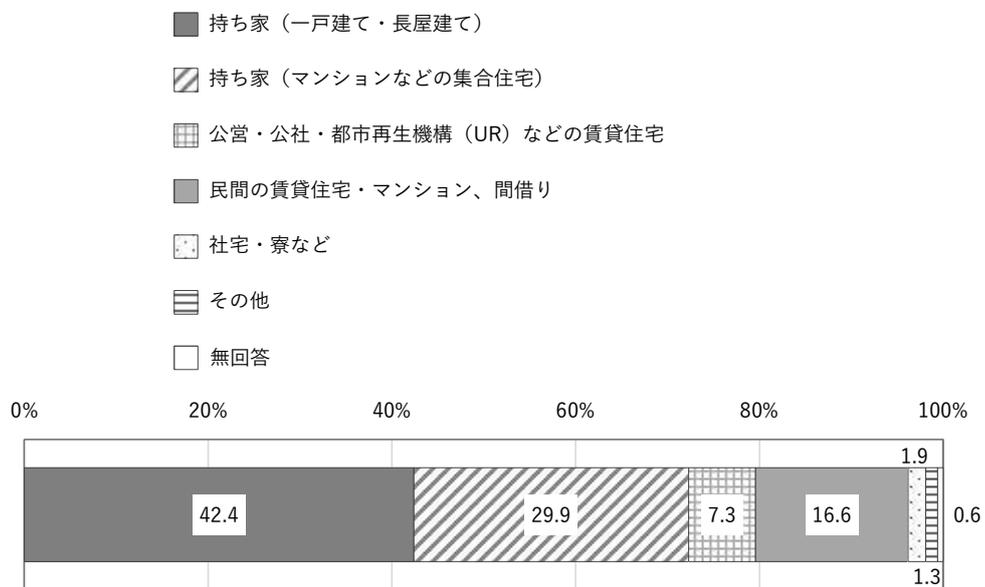
●同居家族構成

(n=1,865)



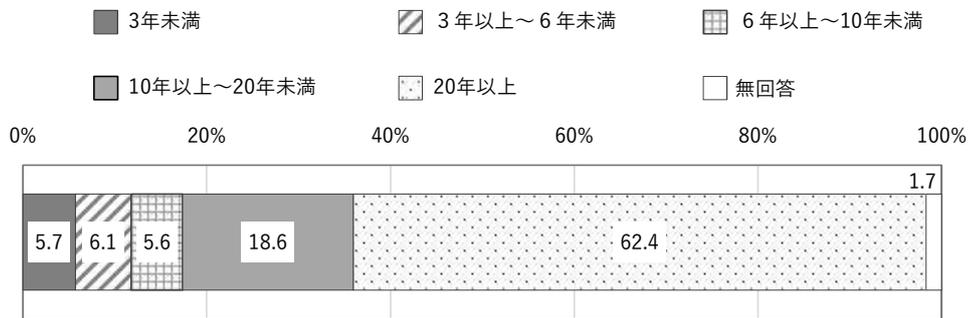
●住まいの種別

(n=1,865)



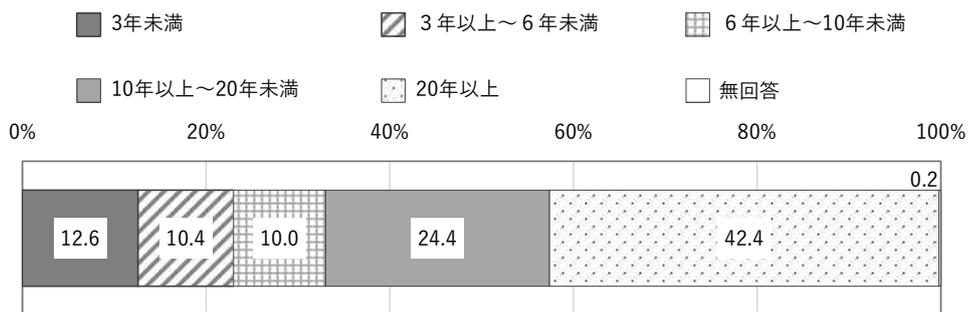
●市内居住年数

(n=1,865)



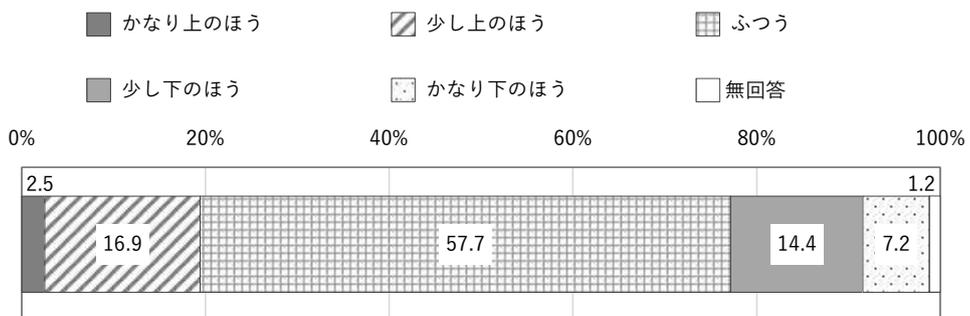
●現住所居住年数

(n=1,865)



●暮らし向き

(n=1,865)



Ⅲ 調査の結果

- アンケート配布・回収結果における回答数 n (number of cases の略) は、設問に対する有効回答者数を意味している。
- 各選択肢の構成比 (%) は、小数点第 2 位以下を四捨五入しているため、構成比の合計が 100%にならない場合がある。
- クロス集計結果は全て横%表で示している。
- 複数回答が可能な設問の場合、選択肢の構成比の合計が 100%を超える場合がある。
- 表については、報告書内で注目している箇所に で網かけをしている。
- 凡例における「無回答」には、択一式の設問に対して複数回答している場合など、回答はあるが無効となったものも含んでいる。
- 性別のクロス集計における「その他」については、回答者数が少ない為、除外して分析をしている。
- 〈施策に向けての一言〉は、関西学院大学政治行動研究センター・善教将大教授によるものである。

Ⅲ 調査の結果

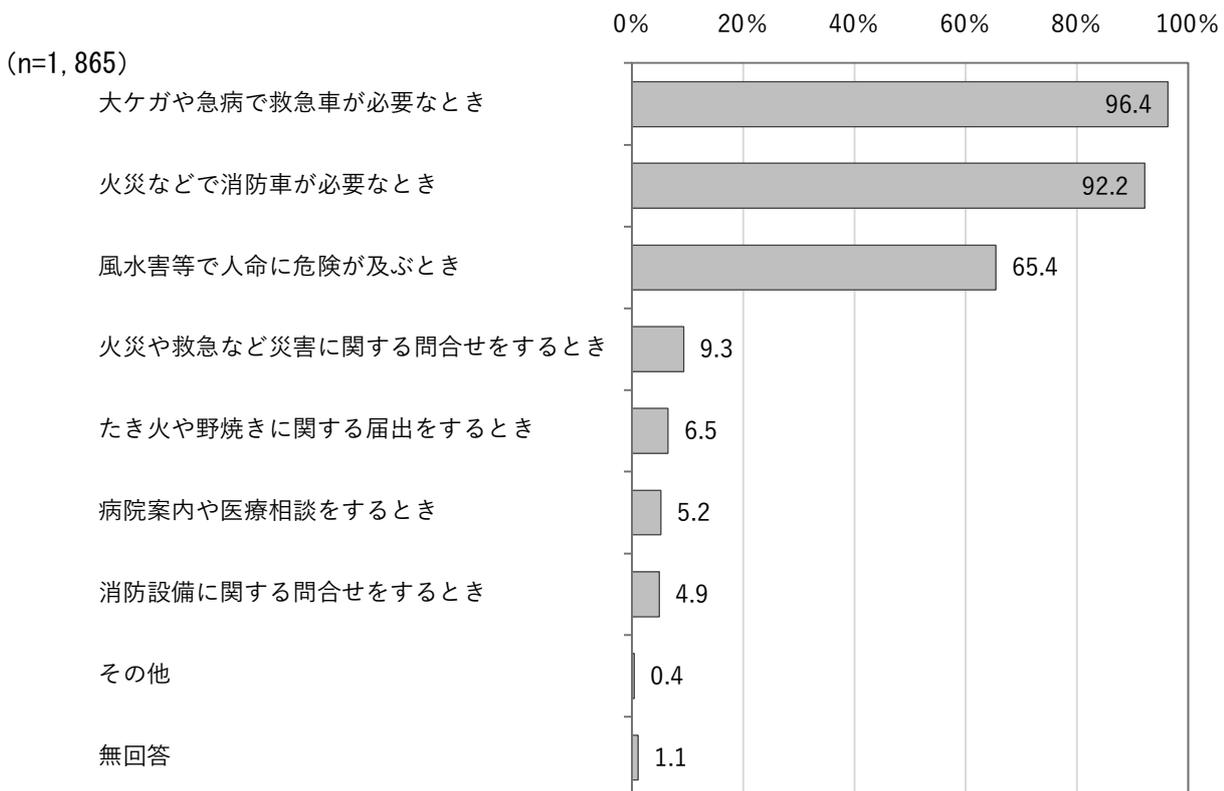
119番通報、救急車の利用について

119番は、火災や救急等の災害の際に利用する緊急回線です。また、救急車は、大ケガや急病などで緊急に診察や処置が必要な人のためのものです。

119番や救急車についての意識調査を行い、適正利用の推進に生かしていきたいと考えています。

問 11. 119番通報はどのようなときに利用するものだと思いますか。(あてはまるものをすべて選んで○)

- 119番通報はどのようなときに利用するものだと思うかについては、「大ケガや急病で救急車が必要なとき」が96.4%と最も高く、次いで「火災などで消防車が必要なとき」(92.2%)、「風水害等で人命に危険が及ぶとき」(65.4%)となっている。
- 年齢(6区分)別にみると、「80歳以上」で「風水害等で人命に危険が及ぶとき」が55.6%と全体より9.8ポイント低くなっている。
- 一方で、年齢区分が上がるにつれ、「たき火や野焼きに関する届出をするとき」・「病院案内や医療相談をするとき」の割合が高くなる傾向がみられる。
- 家族構成別にみると、「息子世帯または娘世帯と同居」で「火災や救急など災害に関する問合せをするとき」が18.0%と2割近くを占め、全体より8.7ポイント高くなっている。



■年齢（6区分）別 119番通報はどのようなときに利用するものだと思うか

単位：%

	n (人)	火災などで消防車が必要なとき	大ケガや急病で救急車が必要なとき	風水害等で人命に危険が及ぶとき	消防設備に関する問合せをするとき	火災や救急など災害に関する問合せをするとき	たき火や野焼きに関する届出をするとき	病院案内や医療相談をするとき	その他	無回答
全 体	1865	92.2	96.4	65.4	4.9	9.3	6.5	5.2	0.4	1.1
18～29 歳	149	92.6	94.6	67.8	4.7	6.7	2.7	1.3	0.0	0.0
30～49 歳	499	93.6	97.2	68.7	3.8	7.4	3.8	3.4	0.6	0.6
50～64 歳	530	95.5	98.1	69.4	4.0	7.0	5.1	4.9	0.2	0.4
65～69 歳	148	90.5	99.3	60.1	4.1	7.4	6.1	7.4	0.0	0.7
70～79 歳	340	88.8	95.6	60.3	5.3	12.9	10.6	6.5	0.9	2.4
80 歳以上	189	85.7	89.9	55.6	9.5	17.5	13.2	10.1	0.0	3.2

■家族構成別 119番通報はどのようなときに利用するものだと思うか

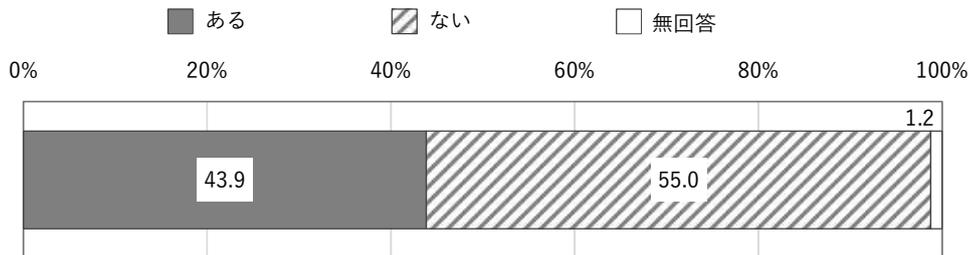
単位：%

	n (人)	火災などで消防車が必要なとき	大ケガや急病で救急車が必要なとき	風水害等で人命に危険が及ぶとき	消防設備に関する問合せをするとき	火災や救急など災害に関する問合せをするとき	たき火や野焼きに関する届出をするとき	病院案内や医療相談をするとき
全 体	1865	92.2	96.4	65.4	4.9	9.3	6.5	5.2
単身	244	88.5	91.8	61.5	5.3	11.5	4.9	8.2
夫婦のみ	538	92.2	97.0	65.4	5.8	8.6	9.3	5.9
夫婦とその未婚の子ども	683	95.2	98.1	68.7	3.1	8.2	4.5	4.0
父親または母親とその未婚の子ども	173	87.9	97.1	64.7	4.6	8.7	5.8	2.9
息子世帯または娘世帯と同居	50	94.0	96.0	70.0	14.0	18.0	12.0	6.0
その他	155	91.0	94.2	58.1	4.5	10.3	5.8	5.8
	n (人)	その他	無回答					
全 体	1865	0.4	1.1					
単身	244	0.0	2.9					
夫婦のみ	538	0.6	1.1					
夫婦とその未婚の子ども	683	0.4	0.3					
父親または母親とその未婚の子ども	173	0.0	0.6					
息子世帯または娘世帯と同居	50	0.0	0.0					
その他	155	0.6	1.9					

問 12. あなたは、救急車を実際に呼んだことはありますか。(1つ選んで○)

- 救急車を呼んだ経験については、「ある」が43.9%、「ない」が55.0%となっている。
- 性年齢（10歳刻み）別にみると、概ね年代が上がるにつれ「ある」が高くなる傾向がみられ、「80歳以上女性」で57.5%と6割近くを占め最も高くなっている。
- 家族構成別にみると、「父親または母親とその未婚の子ども」で「ない」が61.3%と6割を超え、全体より6.3ポイント高くなっている。

(n=1,865)



■性年齢（10歳刻み）・家族構成別 救急車を呼んだ経験

単位：％

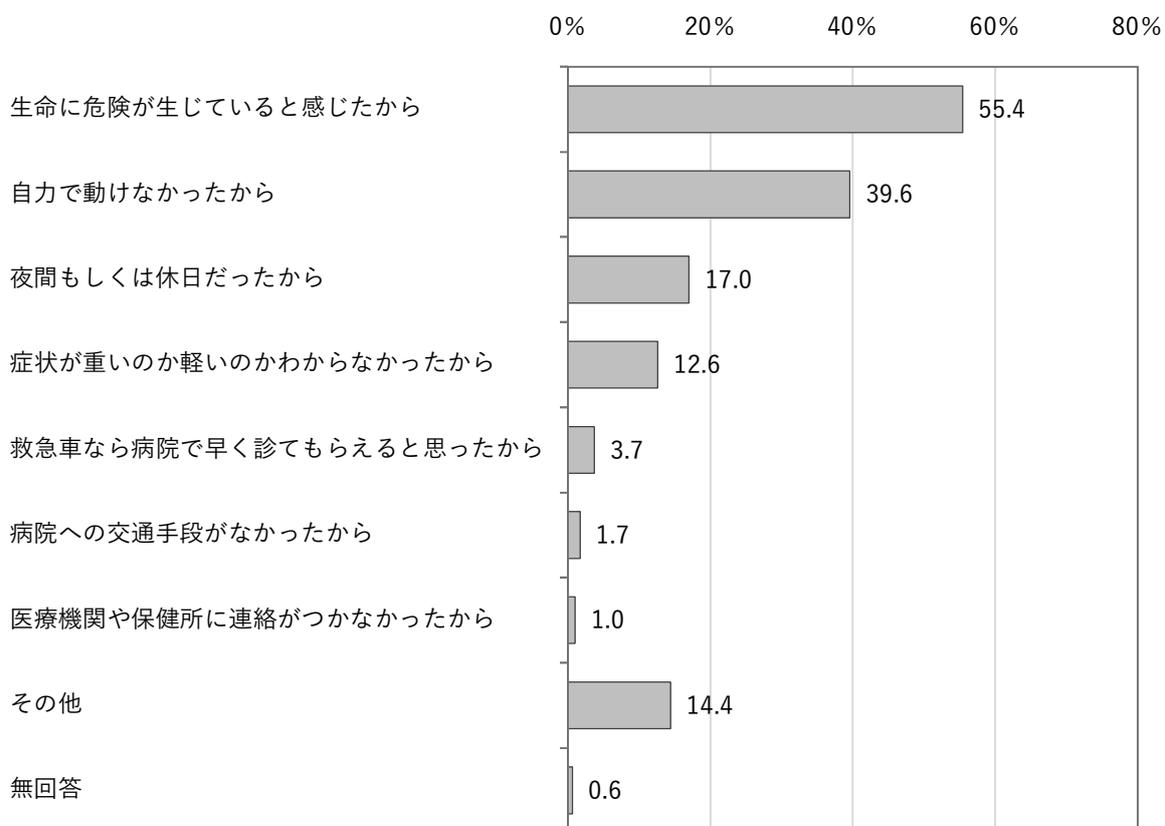
		n (人)	ある	ない	無回答		
全 体		1865	43.9	55.0	1.2		
性年齢（10歳刻み）別	10歳代	男性	14	14.3	85.7	0.0	
		女性	16	31.3	68.8	0.0	
	20歳代	男性	46	17.4	80.4	2.2	
		女性	66	18.2	81.8	0.0	
	30歳代	男性	67	17.9	82.1	0.0	
		女性	100	44.0	55.0	1.0	
	40歳代	男性	103	40.8	58.3	1.0	
		女性	192	38.0	60.9	1.0	
	50歳代	男性	133	39.8	60.2	0.0	
		女性	216	52.3	47.2	0.5	
	60歳代	男性	123	52.0	48.0	0.0	
		女性	178	55.6	43.3	1.1	
	70歳代	男性	134	53.0	43.3	3.7	
		女性	194	46.9	51.0	2.1	
	80歳以上	男性	65	44.6	52.3	3.1	
		女性	113	57.5	40.7	1.8	
	家族構成別	単身		244	42.6	55.3	2.0
		夫婦のみ		538	44.1	54.6	1.3
夫婦とその未婚の子ども		683	43.2	56.5	0.3		
父親または母親とその未婚の子ども		173	37.6	61.3	1.2		
息子世帯または娘世帯と同居		50	56.0	42.0	2.0		
その他		155	51.6	47.1	1.3		

問 13. 問 12 で「ある」に○を付けた方にお聞きします。

その時は、どのような理由で呼びましたか。(あてはまるものをすべて選んで○)

- 救急車を呼んだ理由については、「生命に危険が生じていると感じたから」が 55.4%と最も高く、次いで「自力で動けなかったから」(39.6%)、「夜間もしくは休日だったから」(17.0%) となっている。
- 性年齢(4区分)別にみると、「65歳以上男性」で「自力で動けなかったから」が 50.8%と5割を占め、全体より 11.2ポイント高くなっている。
- 家族構成別にみると、「息子世帯または娘世帯と同居」で「自力で動けなかったから」が 57.1%と全体より 17.5ポイント高くなっている。

(n=818)



■性年齢（4区分）別 救急車を呼んだ理由

単位：%

		n (人)	生命に危険が生じていると感じたから	自力で動けなかったから	症状が重いのか軽いのかわからなかったから	夜間もしくは休日だったから	病院への交通手段がなかったから	救急車なら病院で早く診てもらえると思ったから	医療機関や保健所に連絡がつかなかったから	その他	無回答
全 体		818	55.4	39.6	12.6	17.0	1.7	3.7	1.0	14.4	0.6
18 ～ 29 歳	男性	10	50.0	50.0	20.0	0.0	0.0	10.0	0.0	10.0	0.0
	女性	17	35.3	35.3	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	29.4	0.0
30 ～ 49 歳	男性	54	59.3	31.5	16.7	13.0	1.9	1.9	1.9	14.8	0.0
	女性	117	58.1	35.9	16.2	17.9	2.6	2.6	1.7	14.5	0.0
50 ～ 64 歳	男性	87	57.5	43.7	12.6	24.1	0.0	2.3	1.1	9.2	0.0
	女性	168	60.7	32.7	8.9	13.7	1.2	1.8	0.6	19.0	0.6
65 歳 以上	男性	130	51.5	50.8	13.8	16.9	2.3	6.9	0.8	11.5	0.8
	女性	200	51.5	42.5	11.5	20.0	1.5	4.5	1.0	13.0	1.0

■家族構成別 救急車を呼んだ理由

単位：%

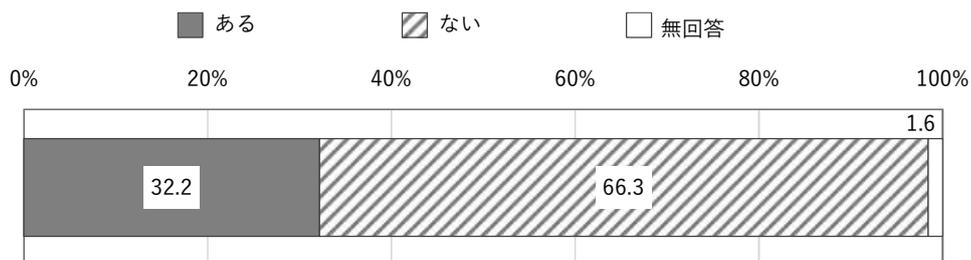
	n (人)	生命に危険が生じていると 感じたから	自力で動けなかったから	症状が重いのか軽いのか わからなかったから	夜間もしくは休日だったから	病院への交通手段がなかったから
全 体	818	55.4	39.6	12.6	17.0	1.7
単身	104	51.9	48.1	12.5	17.3	1.0
夫婦のみ	237	51.5	48.1	11.4	19.8	3.4
夫婦とその未婚の子ども	295	56.3	31.9	14.2	16.3	0.7
父親または母親とその未婚の子ども	65	56.9	32.3	10.8	10.8	1.5
息子世帯または娘世帯と同居	28	50.0	57.1	17.9	14.3	3.6
その他	80	67.5	35.0	10.0	18.8	1.3
	n (人)	救急車なら病院で早く 診てもらえると思ったから	医療機関や保健所に連絡が つかなかったから	その他	無回答	
全 体	818	3.7	1.0	14.4	0.6	
単身	104	4.8	1.0	13.5	1.9	
夫婦のみ	237	3.0	1.3	12.7	0.4	
夫婦とその未婚の子ども	295	4.1	1.0	15.3	0.3	
父親または母親とその未婚の子ども	65	1.5	1.5	21.5	0.0	
息子世帯または娘世帯と同居	28	7.1	0.0	3.6	0.0	
その他	80	2.5	0.0	15.0	1.3	

問 14. すべての方にお聞きします。

あなたは、救急車を呼ぶべきか迷ったことはありますか。(1つ選んで○)

- 救急車を呼ぶべきか迷った経験については、「ある」が32.2%、「ない」が66.3%となっている。
- 性年齢(10歳刻み)別にみると、「30歳代女性」で「ある」が39.0%と4割近くを占め、全体より6.8ポイント高くなっている。
- 家族構成別にみると、「父親または母親とその未婚の子ども」で「ない」が71.1%と7割を超えている。

(n=1,865)



■性年齢（10歳刻み）・家族構成別 救急車を呼ぶべきか迷った経験

単位：％

		n (人)	ある	ない	無回答		
全 体		1865	32.2	66.3	1.6		
性年齢（10歳刻み）別	10歳代	男性	14	14.3	85.7	0.0	
		女性	16	31.3	68.8	0.0	
	20歳代	男性	46	17.4	80.4	2.2	
		女性	66	21.2	78.8	0.0	
	30歳代	男性	67	25.4	73.1	1.5	
		女性	100	39.0	61.0	0.0	
	40歳代	男性	103	28.2	70.9	1.0	
		女性	192	36.5	63.0	0.5	
	50歳代	男性	133	31.6	68.4	0.0	
		女性	216	36.6	63.0	0.5	
	60歳代	男性	123	23.6	75.6	0.8	
		女性	178	36.5	61.2	2.2	
	70歳代	男性	134	28.4	67.9	3.7	
		女性	194	37.1	60.3	2.6	
	80歳以上	男性	65	29.2	66.2	4.6	
		女性	113	38.9	57.5	3.5	
	家族構成別	単身		244	30.3	67.2	2.5
		夫婦のみ		538	29.7	68.2	2.0
夫婦とその未婚の子ども		683	34.8	64.6	0.6		
父親または母親とその未婚の子ども		173	28.3	71.1	0.6		
息子世帯または娘世帯と同居		50	38.0	60.0	2.0		
その他		155	32.9	65.2	1.9		

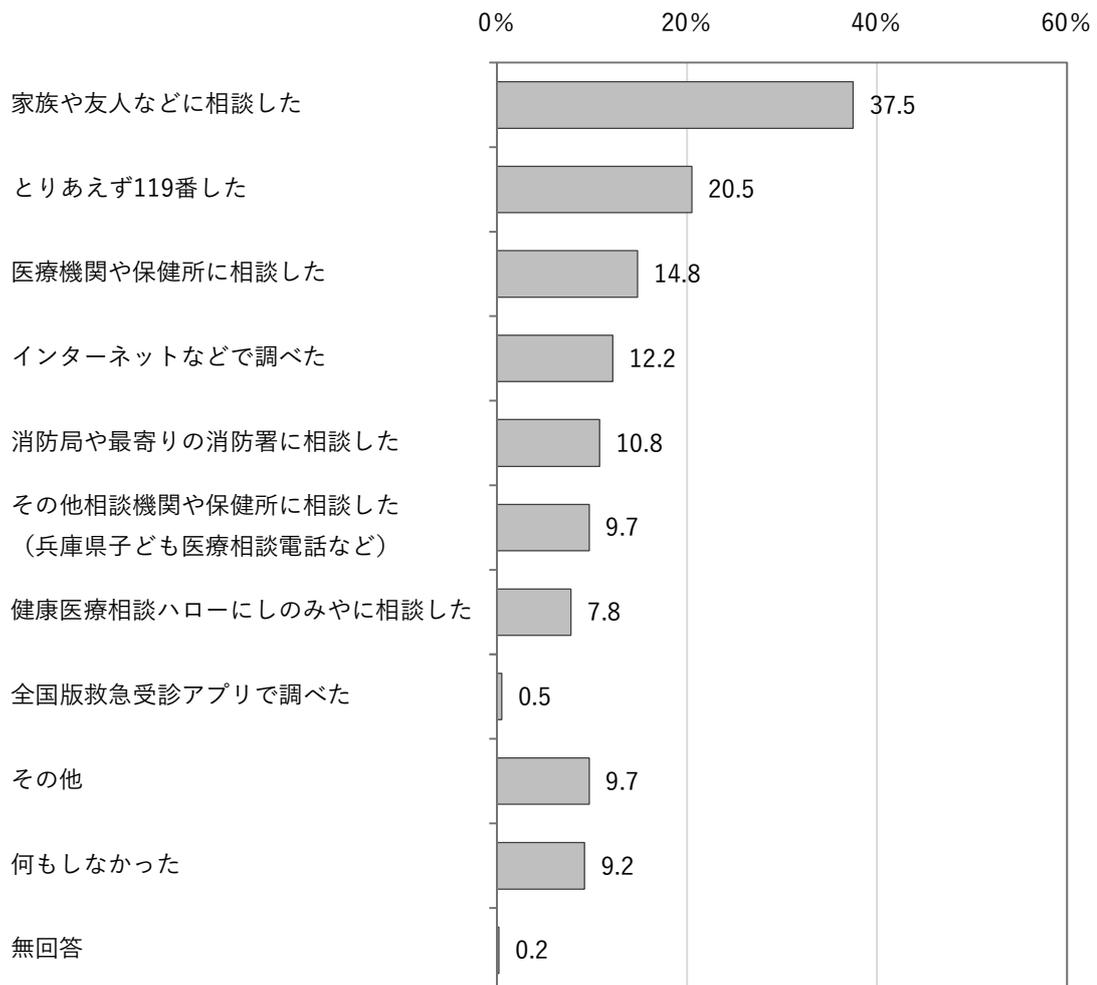
問 15. 問 14 で「ある」に○を付けた方にお聞きします。

救急車を呼ぶべきか迷ったとき、どうしましたか。

(あてはまるものをすべて選んで○、何もしなかった方は「何もしなかった」を選んでください)

- 救急車を呼ぶべきか迷ったときにとった行動については、「家族や友人などに相談した」が37.5%と最も高く、次いで「とりあえず119番した」(20.5%)、「医療機関や保健所に相談した」(14.8%)となっている。
- 年齢(4区分)別にみると、「18~29歳」で「家族や友人などに相談した」が56.7%と5割を超え、全体より19.2ポイント高くなっている。
- 「30~49歳」で「その他相談窓口(兵庫県子ども医療相談電話など)」が26.1%と2割を超え、全体より16.4ポイント高くなっている。
- 「65歳以上」で「消防局や最寄りの消防署に相談した」が16.0%と1割を超え、全体より5.2ポイント高くなっている。
- また、年齢区分が上がるにつれ、「インターネットなどで調べた」の割合が低くなる傾向がみられ、「65歳以上」では1割未満となっている。

(n=600)



■年齢（4区分）別 救急車を呼ぶべきか迷ったときにとった行動

単位：%

	n (人)	消防局や最寄りの消防署に相談した	家族や友人などに相談した	健康医療相談ハローにのみやに相談した	医療機関や保健所に相談した	その他相談窓口に相談した (兵庫県子ども医療相談電話など)	全国版救急受診アプリで調べた	インターネットなどで調べた	とりあえず119番した	その他
全 体	600	10.8	37.5	7.8	14.8	9.7	0.5	12.2	20.5	9.7
18～29 歳	30	6.7	56.7	3.3	6.7	6.7	0.0	26.7	16.7	3.3
30～49 歳	165	7.9	32.1	15.2	15.8	26.1	1.2	25.5	18.8	6.1
50～64 歳	183	7.7	39.3	7.1	19.1	7.1	0.5	11.5	16.9	12.0
65 歳以上	219	16.0	37.4	3.7	11.9	0.0	0.0	0.9	24.7	11.4
	n (人)	何もしなかった	無回答							
全 体	600	9.2	0.2							
18～29 歳	30	10.0	0.0							
30～49 歳	165	6.7	0.0							
50～64 歳	183	10.4	0.0							
65 歳以上	219	10.0	0.5							

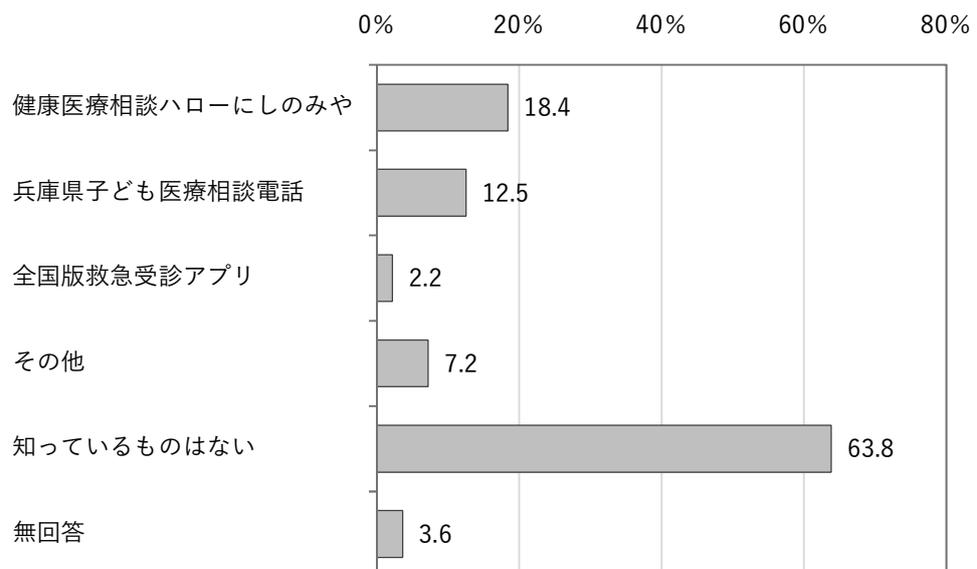
問 16. すべての方にお聞きします。

あなたは、急な病気やケガをしたときの相談あるいは連絡先で知っているものはありますか。

(あてはまるものをすべて選んで○、知っているものがない方は「知っているものはない」を選んでください)

- 急な病気やケガをしたときの相談・連絡先で知っているものについては、「知っているものはない」が63.8%と最も高く、次いで「健康医療相談ハローにしのみや」(18.4%)、「兵庫県子ども医療相談電話」(12.5%)となっている。
- 性年齢(10歳刻み)別にみると、「30歳代女性」で「兵庫県子ども医療相談電話」が35.5ポイント、「健康医療相談ハローにしのみや」が9.6ポイント、それぞれ全体より高くなっている。
- 一方で、「10歳代男性」・「10歳代女性」・「20歳代男性」・「60歳代男性」で「知っているものはない」が8割を超えている。
- 家族構成別にみると、「夫婦とその未婚の子ども」で「兵庫県子ども医療相談電話」が25.9%と2割を超え、全体より13.4ポイント高くなっている。

(n=1,865)



■性年齢（10歳刻み）・家族構成別 急な病気やケガをしたときの相談・連絡先で知っているもの

単位：%

		n (人)	健康医療相談 ハローにしのみや	兵庫県子ども 医療相談電話	全国版救急受診アプリ	その他	知っているものはない	無回答		
全 体		1865	18.4	12.5	2.2	7.2	63.8	3.6		
性 年 齢 （ 10 歳 刻 み ） 別	10 歳 代	男性	14	0.0	0.0	7.1	7.1	85.7	0.0	
		女性	16	6.3	12.5	0.0	0.0	87.5	0.0	
	20 歳 代	男性	46	10.9	2.2	0.0	4.3	82.6	0.0	
		女性	66	7.6	9.1	3.0	1.5	78.8	1.5	
	30 歳 代	男性	67	22.4	32.8	4.5	1.5	52.2	3.0	
		女性	100	28.0	48.0	3.0	2.0	43.0	1.0	
	40 歳 代	男性	103	18.4	23.3	2.9	1.9	63.1	1.0	
		女性	192	26.6	35.4	1.6	4.7	50.5	1.0	
	50 歳 代	男性	133	14.3	7.5	1.5	6.0	74.4	0.0	
		女性	216	16.2	10.6	2.3	12.0	66.2	0.0	
	60 歳 代	男性	123	12.2	3.3	1.6	6.5	80.5	0.0	
		女性	178	21.3	4.5	5.1	7.9	64.0	2.2	
	70 歳 代	男性	134	16.4	0.0	0.7	11.9	64.2	7.5	
		女性	194	23.7	2.1	1.0	8.2	62.4	8.2	
	80 歳 以 上	男性	65	21.5	3.1	3.1	12.3	60.0	9.2	
		女性	113	14.2	0.0	0.9	15.0	50.4	19.5	
	家 族 構 成 別	単身（ひとり暮らし）		244	12.7	1.6	1.2	9.4	71.3	7.4
		夫婦のみ		538	16.9	3.3	1.7	9.5	69.3	3.7
夫婦とその未婚の子ども		683	22.4	25.9	2.9	4.4	55.8	1.6		
父親または母親とその未婚の子ども		173	17.3	9.8	2.9	5.2	69.4	1.7		
息子世帯または娘世帯と同居		50	16.0	6.0	2.0	6.0	62.0	12.0		
その他		155	16.1	8.4	1.9	11.0	65.2	4.5		

施策に向けての一言 <119番通報、救急車の利用について>

火災や救急などの災害が起きた際、あるいはケガや急病などで緊急に診察や処置が必要な事態に遭遇した際に、緊急回線である119番が利用される。しかし、緊急回線は本来の目的以外の場合でも利用されることがままある。そのような実態を把握すべく、2022年度の『西宮市民意識調査』では、119番通報や救急車の利用目的に関する調査を行った。

まず119番をどのような時に利用するのかという点について調査した結果(問11)を見ると、わずかではあるが、火災や急病など以外にも「たき火や野焼きの届出(7%)」「医療相談(5%)」「消防設備の問い合わせ(5%)」などの項目を選択している人がいるという結果になった。年齢とクロスした分析結果について確認したところ、高齢になるほど、これらの本来の目的外の利用項目を選択する傾向が強くなるという結果であった。119番通報のあり方については、とりわけ高齢者に対して啓発していく必要性があることを、これらの結果は示していると言える。

救急車を呼んだ経験を調査したところ(問12)、呼んだことが「ある」人は44%であり、半数近い人が救急車を呼んだ経験があるようだ。ただし、29歳以下の若い世代の人は、男女ともに呼んだ経験が少ない。若年層において119番の利用に消極的な姿勢があるならば、緊急時には積極的に呼ぶべきと注意喚起する必要がある。なお、呼んだ理由を尋ねたところ(問13)、「生命に危険が生じていると感じた(55%)」が最も多いものの、わずかだが、「救急車なら早く診てもらえる(4%)」「交通手段がない(2%)」を選択する人もいた。特に、高齢層において、これらの理由を選んでいる人が多い。いかなる場合に119番通報すべきかを理解してもらうための啓発が必要であることは、この結果からも言える。

救急車を呼ぶべきかについて迷ったことがあるかを尋ねた結果を見ると(問14)、迷ったことが「ある」(32%)人は相対的に少なく、多くの人はそれほど迷わないことがわかる。ただし若年層は、ほとんど119番通報した経験がないこともあり、「ない」を選択している人が多い。最も顕著に見られるのは性差であり、概して男性よりも女性の方が迷う割合が大きくなる。男性は、どの年代でも迷うことなく119番通報する傾向がある。

迷った場合どうしたかを尋ねた結果を見ると(問15)、主な相談先としては「家族や友人(38%)」が最も多く、次いで「医療機関や保健所(15%)」「インターネット(12%)」が多い。「兵庫県子ども医療相談電話(10%)」や「ハローにしのみや(8%)」を利用している人もいるが、選択割合で言うと高くない。なお、これらのサービスの利用者は30歳から49歳という特定の年齢に集中しており、この点を踏まえれば、サービスに関する認知度の向上を一つの課題として指摘できる。実際に認知度の調査結果においても(問16)、認知度は2割未満と高くない。

(関西学院大学 善教将大)

西宮に対する思いについて

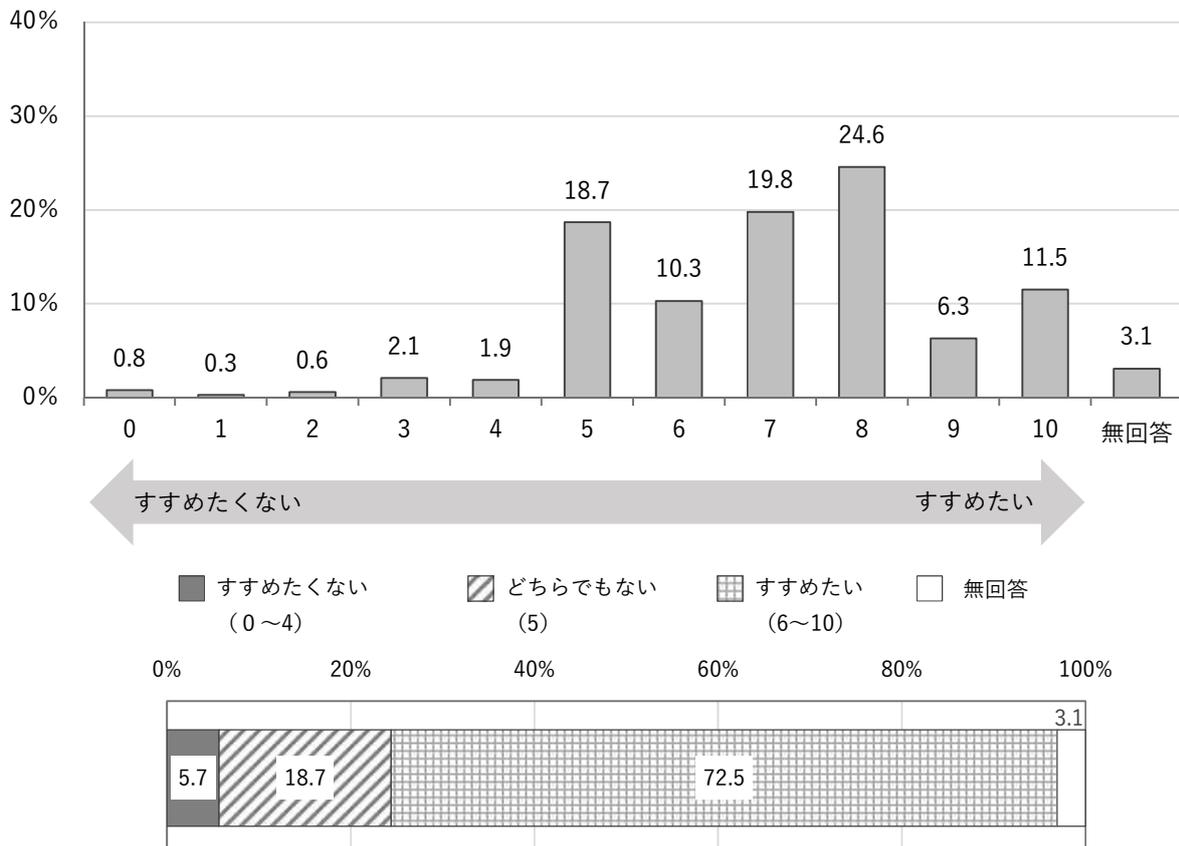
西宮市では、市民のみなさまが西宮の多様な魅力を知ることでもちへの愛着が高まり、西宮に関わる人たちがいきいきと活動できるようなまちであり続けるために、様々な情報を積極的に発信しています。

西宮に対するみなさまの思いと市の広報媒体の利用状況をうかがい、より効果的に西宮の魅力を発信し地域活性化につなげていくための参考とさせていただきます。

問 17. あなたは、あなたが思う西宮の魅力を誰かにおすすめしたいとどの程度思いますか。とてもすすめたい場合は 10、全くすすめたくない場合は 0 としてください。(数字を 1 つ選んで 0)

- 西宮の魅力の推奨度については、「8」が 24.6% と最も高く、次いで「7」(19.8%)、「5」(18.7%) となっている。
- 推奨度について、「すすめたくない (0~4)」、「どちらでもない (5)」、「すすめたい (6~10)」の 3 段階に分類すると、「すすめたい (6~10)」が 72.5% と最も高くなっている。
- 市内居住年数別にみると、「3 年以上~6 年未満」で「すすめたくない (0~4)」が 1 割を占めている。
- 性年齢 (10 歳刻み別) にみると、「10 歳代女性」で「すすめたい (6~10)」が 87.5% と 9 割近くを占め、全体より 15.0 ポイント高くなっている。

(n=1,865)



■市内居住年数・性年齢（10歳刻み）別 西宮の魅力の推奨度（3段階）

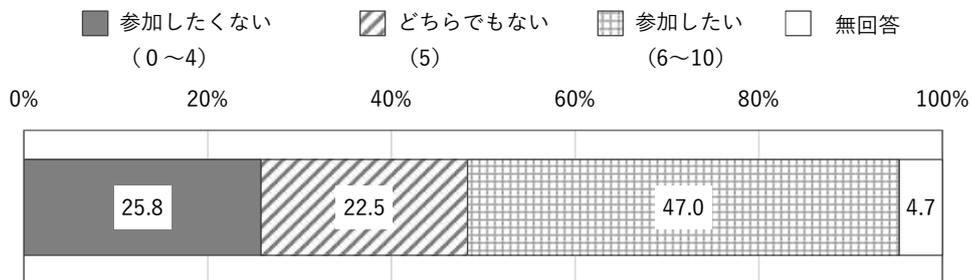
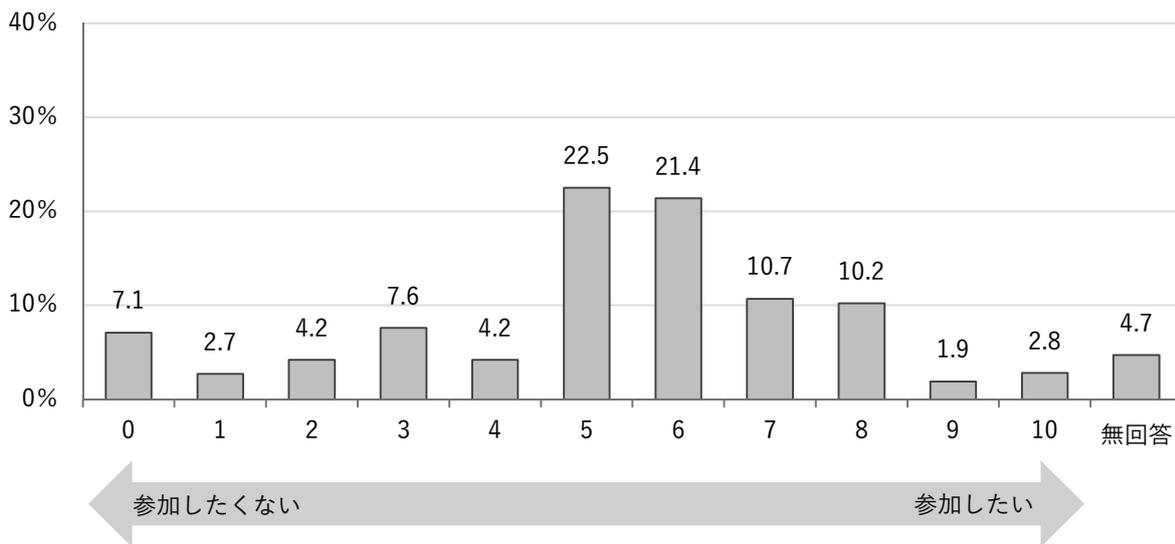
単位：％

		n (人)	すすめたくない (0～4)	どちらでもない (5)	すすめたい (6～10)	無回答	
全 体		1865	5.7	18.7	72.5	3.1	
市内居住年数別	3年未満	106	2.8	16.0	79.2	1.9	
	3年以上～6年未満	113	10.6	15.0	74.3	0.0	
	6年以上～10年未満	105	4.8	16.2	79.0	0.0	
	10年以上～20年未満	346	4.3	17.9	75.7	2.0	
	20年以上	1163	5.8	20.0	70.0	4.1	
性年齢（10歳刻み）別	10歳代	男性	14	0.0	28.6	71.4	0.0
		女性	16	0.0	12.5	87.5	0.0
	20歳代	男性	46	8.7	4.3	87.0	0.0
		女性	66	6.1	10.6	83.3	0.0
	30歳代	男性	67	1.5	16.4	82.1	0.0
		女性	100	5.0	13.0	82.0	0.0
	40歳代	男性	103	3.9	17.5	76.7	1.9
		女性	192	5.7	14.1	79.2	1.0
	50歳代	男性	133	5.3	16.5	76.7	1.5
		女性	216	4.2	12.0	83.3	0.5
	60歳代	男性	123	8.1	22.8	67.5	1.6
		女性	178	6.7	18.5	71.9	2.8
	70歳代	男性	134	6.0	24.6	61.2	8.2
		女性	194	5.2	28.9	59.8	6.2
	80歳以上	男性	65	6.2	29.2	58.5	6.2
		女性	113	8.0	22.1	56.6	13.3

問 18. あなたは、西宮でまちをよくするための活動や行事に参加したいとどの程度思いますか。とても参加したい場合は 10、全く参加したくない場合は 0 としてください。(数字を 1 つ選んで 0)

- 西宮の活動や行事への参加意欲については、「5」が 22.5%と最も高く、次いで「6」(21.4%)、「7」(10.7%) となっている。
- 参加意欲について、「参加したくない(0~4)」、「どちらでもない(5)」、「参加したい(6~10)」の 3 段階に分類すると、「参加したい(6~10)」が 47.0%と最も高くなっている。
- 市内居住年数別にみると、「3年以上~6年未満」で「参加したくない(0~4)」が 39.8%と 4割近くを占め全体より 14.0ポイント高くなっている一方で、「6年以上~10年未満」で「参加したい(6~10)」が 53.3%と全体より 6.3ポイント高くなっている。
- 性年齢(10歳刻み別)にみると、「80歳以上女性」で「参加したくない(0~4)」が 37.2%と全体より 11.4ポイント高くなっている一方で、「10歳代女性」で「参加したい(6~10)」が 62.5%と 6割を超え全体より 15.5ポイント高くなっている。

(n=1,865)



■市内居住年数・性年齢（10歳刻み）別 西宮の活動や行事への参加意欲（3段階）

単位：％

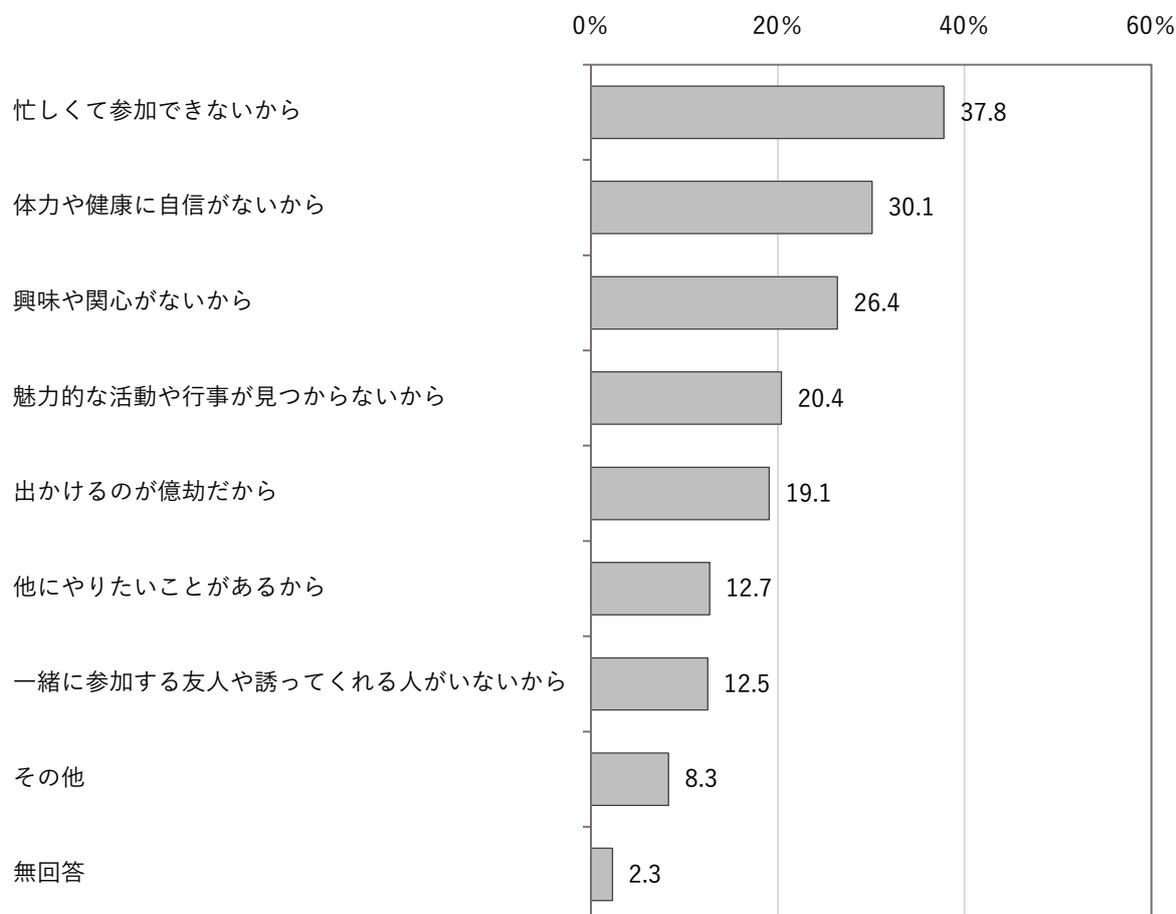
		n (人)	参加したくない (0～4)	どちらでもない (5)	参加したい (6～10)	無回答	
全 体		1865	25.8	22.5	47.0	4.7	
市内居住年数別	3年未満	106	33.0	25.5	36.8	4.7	
	3年以上～6年未満	113	39.8	18.6	41.6	0.0	
	6年以上～10年未満	105	18.1	28.6	53.3	0.0	
	10年以上～20年未満	346	23.1	21.7	50.9	4.3	
	20年以上	1163	25.1	22.8	46.5	5.6	
性年齢（10歳刻み）別	10歳代	男性	14	28.6	42.9	28.6	0.0
		女性	16	12.5	25.0	62.5	0.0
	20歳代	男性	46	34.8	26.1	39.1	0.0
		女性	66	33.3	27.3	39.4	0.0
	30歳代	男性	67	34.3	22.4	41.8	1.5
		女性	100	25.0	26.0	49.0	0.0
	40歳代	男性	103	27.2	25.2	44.7	2.9
		女性	192	19.8	26.6	51.6	2.1
	50歳代	男性	133	28.6	20.3	51.1	0.0
		女性	216	22.2	22.2	51.4	4.2
	60歳代	男性	123	28.5	17.9	52.0	1.6
		女性	178	21.3	24.2	48.9	5.6
	70歳代	男性	134	22.4	21.6	48.5	7.5
		女性	194	24.7	20.6	44.8	9.8
	80歳以上	男性	65	23.1	24.6	43.1	9.2
		女性	113	37.2	11.5	33.6	17.7

問 19. 問 18 で「0～5」に○を付けた方にお聞きします。あなたがそのように回答した理由は次のうちどれですか。(あてはまるものを最大3つ選んで○)

- 問 18 で「0～4」と回答した理由については、「忙しくて参加できないから」が 37.8%と最も高く、次いで「体力や健康に自信がないから」(30.1%)、「興味や関心がないから」(26.4%) となっている。
- 性年齢(4区分)別に見ると、「18～29 歳男性」・「18～29 歳女性」で「忙しくて参加できないから」が6割、「興味や関心がないから」が4割を超えている。
- 「30～49 歳男性」で「他にやりたいことがあるから」が 29.4%と3割近くを占め、全体より 16.7ポイント高くなっている。
- 「50～64 歳男性」で「魅力的な活動や行事が見つからないから」が 37.9%と4割近くを占め、全体より 17.5ポイント高くなっている。
- 「65 歳以上女性」で「体力や健康に自信がないから」が 70.1%と7割を占め、全体より 40.0ポイント高くなっている。

※集計は問 18 で「0～4」を回答した方のみで実施

(n=481)



■性年齢（4区分）別 問18で「0~4」と回答した理由

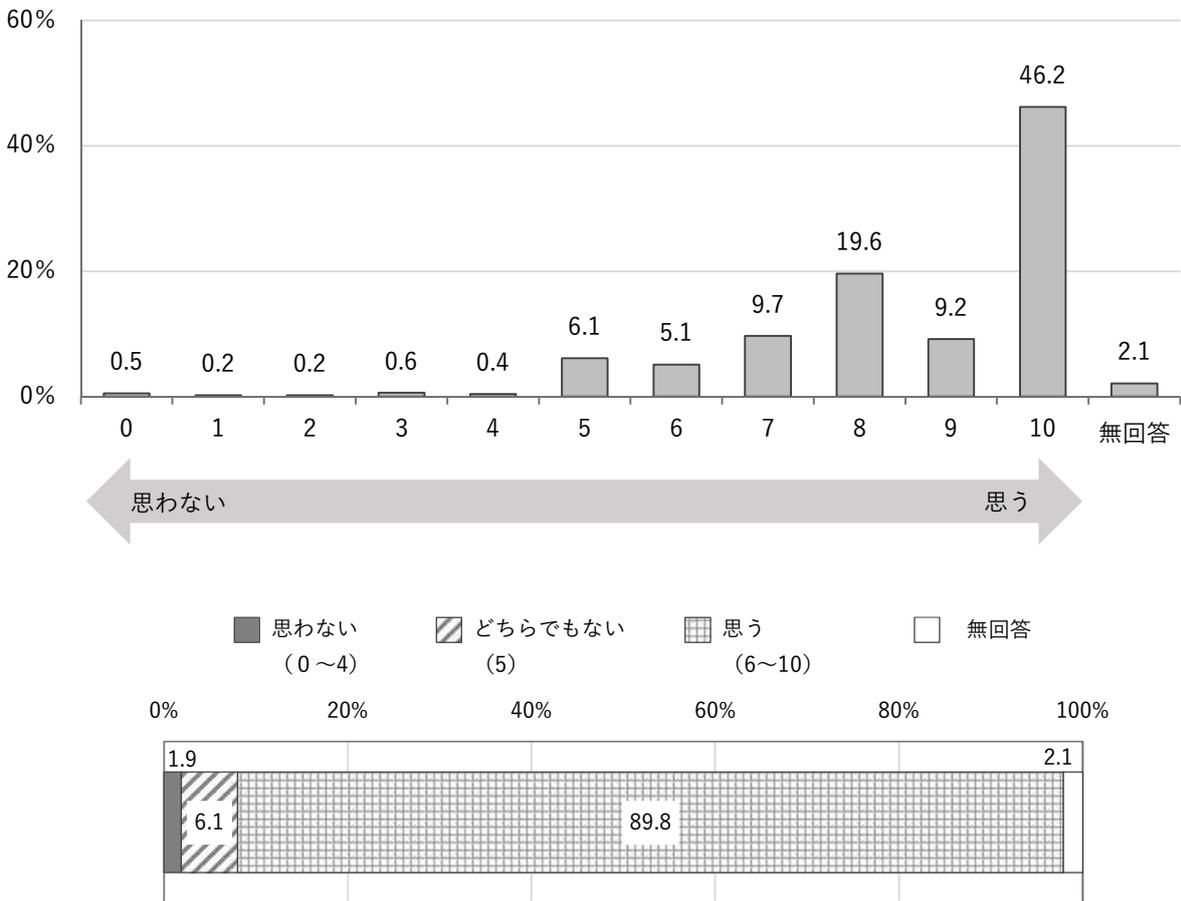
単位：%

		n (人)	興味や関心がないから	魅力的な活動や行事が見つからないから	忙しくて参加できないから	他にやりたいことがあるから	出かけるのが億劫だから	一緒に参加する友人や誘ってくれる人がいないから	体力や健康に自信がないから	その他	無回答
全 体		481	26.4	20.4	37.8	12.7	19.1	12.5	30.1	8.3	2.3
18 ～ 29 歳	男性	20	40.0	20.0	60.0	15.0	20.0	20.0	0.0	5.0	5.0
	女性	24	45.8	12.5	62.5	12.5	25.0	25.0	12.5	8.3	0.0
30 ～ 49 歳	男性	51	33.3	23.5	51.0	29.4	13.7	7.8	2.0	2.0	2.0
	女性	63	34.9	22.2	55.6	12.7	22.2	14.3	9.5	7.9	3.2
50 ～ 64 歳	男性	58	24.1	37.9	48.3	10.3	19.0	8.6	24.1	5.2	0.0
	女性	69	29.0	17.4	55.1	18.8	17.4	14.5	20.3	7.2	1.4
65 歳 以上	男性	60	28.3	15.0	11.7	10.0	10.0	8.3	46.7	10.0	0.0
	女性	107	13.1	12.1	8.4	6.5	23.4	12.1	70.1	13.1	3.7

問 20. すべての方にお聞きします。あなたは、西宮でまちをよくするため活動している人たちに対して「ありがとう」と思う気持ちがどの程度ありますか。「とてもありがとう」と思う場合は10、全く思わない場合は0としてください。(数字を1つ選んで〇)

- 西宮でまちをよくするために活動している人たちへの感謝度については、「10」が46.2%と最も高く、次いで「8」(19.6%)、「7」(9.7%)となっている。
- 感謝度について、「思わない(0~4)」、「どちらでもない(5)」、「思う(6~10)」の3段階に分類すると、「思う(6~10)」が89.8%と最も高くなっている。
- 性年齢(10歳刻み別)にみると、「10歳代男性」で「どちらでもない(5)」が28.6%と全体より22.5ポイント高くなっている。

(n=1,865)



■性年齢（10歳刻み）別 西宮でまちをよくするために活動している人たちへの感謝度

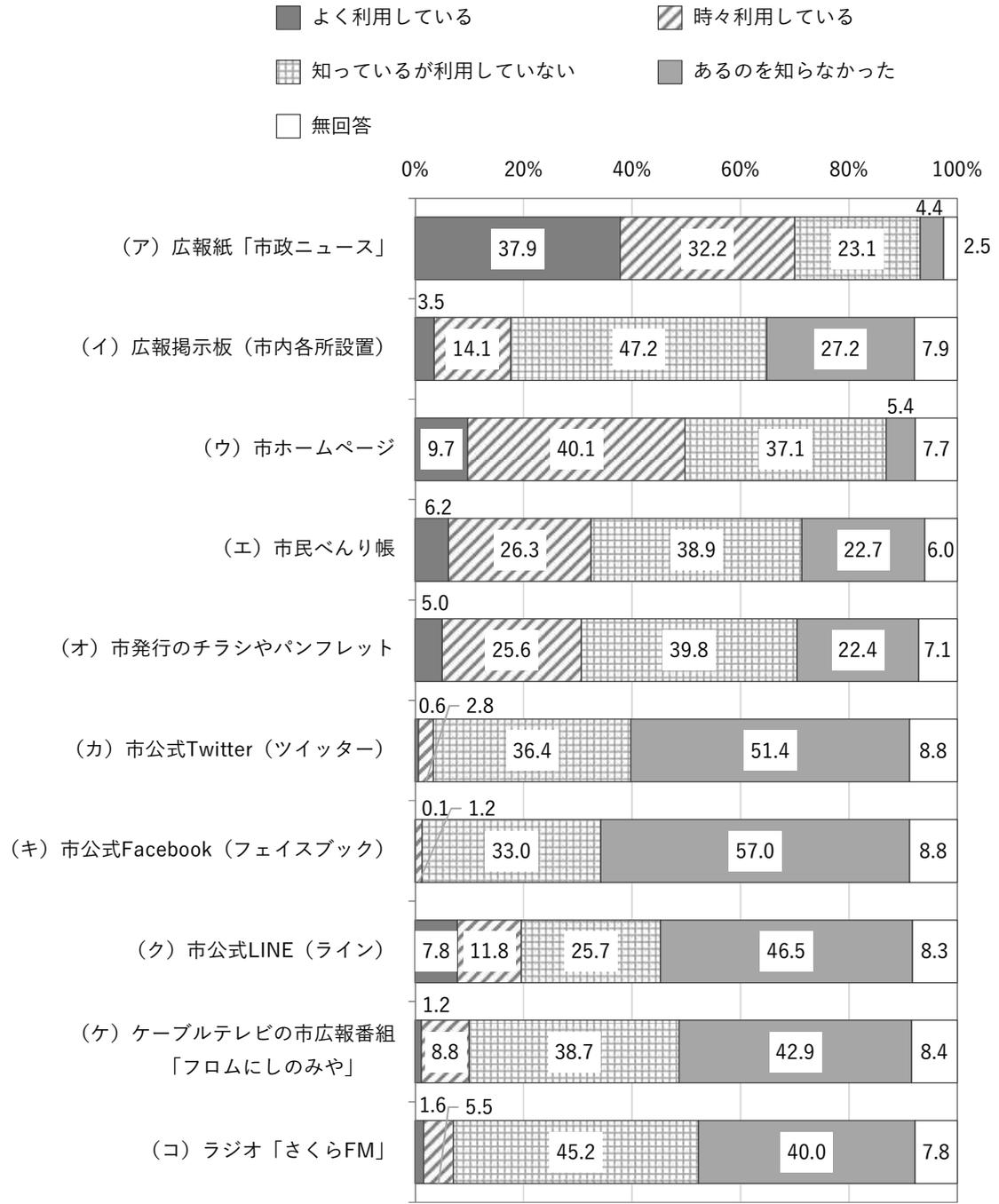
単位：%

		n (人)	0 ～ 4 思わない	5 ～ 10 どちらでもない	6 ～ 10 思う	無回答
全 体		1865	1.9	6.1	89.8	2.1
10 歳代	男性	14	0.0	28.6	71.4	0.0
	女性	16	0.0	0.0	100.0	0.0
20 歳代	男性	46	4.3	8.7	87.0	0.0
	女性	66	1.5	4.5	93.9	0.0
30 歳代	男性	67	4.5	9.0	86.6	0.0
	女性	100	2.0	2.0	94.0	2.0
40 歳代	男性	103	1.9	5.8	90.3	1.9
	女性	192	1.0	4.7	93.2	1.0
50 歳代	男性	133	2.3	8.3	89.5	0.0
	女性	216	0.9	2.3	94.4	2.3
60 歳代	男性	123	3.3	8.1	84.6	4.1
	女性	178	1.1	3.9	92.7	2.2
70 歳代	男性	134	3.7	9.7	85.1	1.5
	女性	194	1.0	4.6	90.7	3.6
80 歳以上	男性	65	0.0	9.2	89.2	1.5
	女性	113	2.7	4.4	87.6	5.3

問 21. 市では、西宮の魅力や市政情報を伝える媒体として「市からのお知らせ」を次のような方法でお届けしています。あなたは、これらをどの程度利用（読む、見る、聴くなど）されていますか。（ア～コのそれぞれについてあてはまるものを1つ選んで○）

- 市の広報媒体の利用頻度については、「(ア) 広報紙「市政ニュース」」で「よく利用している」の割合が37.9%と最も高くなっており、「時々利用している」と合わせた『利用している』割合は70.1%と7割を占めている。一方で、「(キ) 市公式Facebook（フェイスブック）」と「(カ) 市公式Twitter（ツイッター）」で、「あるのを知らなかった」がともに5割を超え高くなっている。

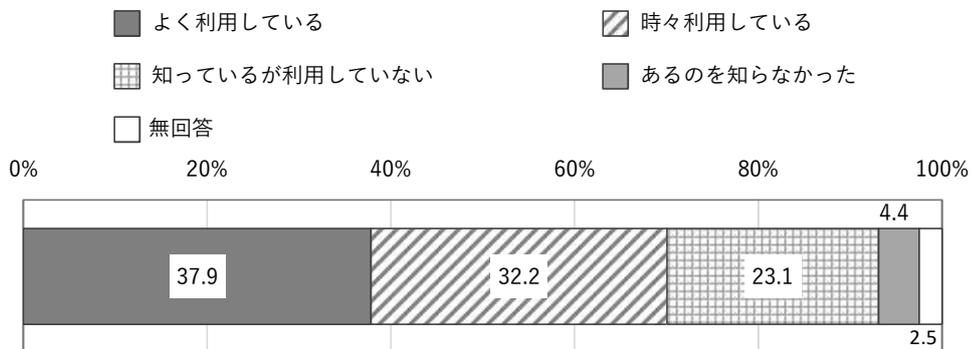
(n=1,865)



(ア) 広報紙「市政ニュース」について

- 広報紙「市政ニュース」の利用頻度については、「よく利用している」が37.9%と最も高く、「時々利用している」を合わせた『利用している』割合は70.1%と7割を占めている。
- 年齢（4区分）別にみると、年齢区分が上がるにつれ、「よく利用している」が高くなる傾向がみられ、「65歳以上」では43.6%と4割を超えている。一方で、「18～29歳」で「あるのを知らなかった」が28.9%と3割近くを占め、全体より24.5ポイント高くなっている。
- 西宮の魅力の推奨度別にみると、推奨度が上がるにつれ、「よく利用している」が高くなる傾向がみられ、「すすめたい（6～10）」では40.4%と4割を占めている。
- 西宮の活動への参加意欲別にみると、参加意欲が上がるにつれ、「よく利用している」が高くなる傾向がみられ、「参加したい（6～10）」では46.8%と4割を超えている。

(n=1,865)



■年齢（4区分）・西宮の魅力の推奨度・西宮の活動への参加意欲別 広報紙「市政ニュース」の利用頻度

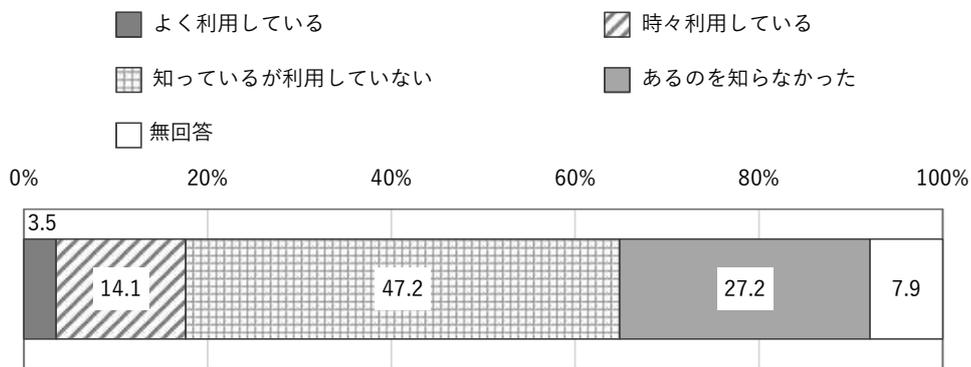
単位：%

		n (人)	よく 利用 して いる	時 々 利 用 し て い る	利 用 し て い る が い ない	あ る の を 知 ら な か っ た	無 回 答	『利 用 し て い る』 計
全 体		1865	37.9	32.2	23.1	4.4	2.5	70.1
年 齢 別	18～29 歳	149	9.4	24.8	36.2	28.9	0.7	34.2
	30～49 歳	499	37.7	36.1	19.4	5.4	1.4	73.8
	50～64 歳	530	39.1	37.2	21.9	0.6	1.3	76.3
	65 歳以上	677	43.6	27.0	23.6	1.2	4.6	70.6
推 奨 度 別	すすめたくない（0～4）	106	22.6	36.8	34.0	3.8	2.8	59.4
	どちらでもない（5）	349	35.0	32.7	26.6	3.4	2.3	67.7
	すすめたい（6～10）	1352	40.4	32.6	21.0	4.8	1.2	73.0
参 加 意 欲 別	参加したくない（0～4）	481	28.1	33.5	28.9	7.3	2.3	61.6
	どちらでもない（5）	420	31.4	33.6	27.6	5.7	1.7	65.0
	参加したい（6～10）	877	46.8	32.0	17.7	2.5	1.0	78.8

(イ) 広報掲示板（市内各所設置）について

- 広報掲示板（市内各所設置）の利用頻度については、「知っているが利用していない」が47.2%と最も高く、次いで「あるのを知らなかった」が27.2%となっている。「よく利用している」・「時々利用している」を合わせた『利用している』割合は17.6%と2割未満となっている。
- 年齢（4区分）別にみると、年齢区分が下がるにつれ、「あるのを知らなかった」が高くなる傾向がみられ、「18～29歳」では49.0%と5割近くを占め、全体より21.8ポイント高くなっている。
- 西宮の魅力の推奨度別にみると、推奨度が上がるにつれ、『利用している』の割合が高くなる傾向がみられ、「すすめたい（6～10）」では19.0%と2割近くを占めている。
- 西宮の活動への参加意欲別にみると、参加意欲が上がるにつれ、『利用している』の割合が高くなる傾向がみられ、「参加したい（6～10）」では25.9%と2割を超えている。

(n=1,865)



■年齢（4区分）・西宮の魅力の推奨度・西宮の活動への参加意欲別 広報掲示板（市内各所設置）の利用頻度

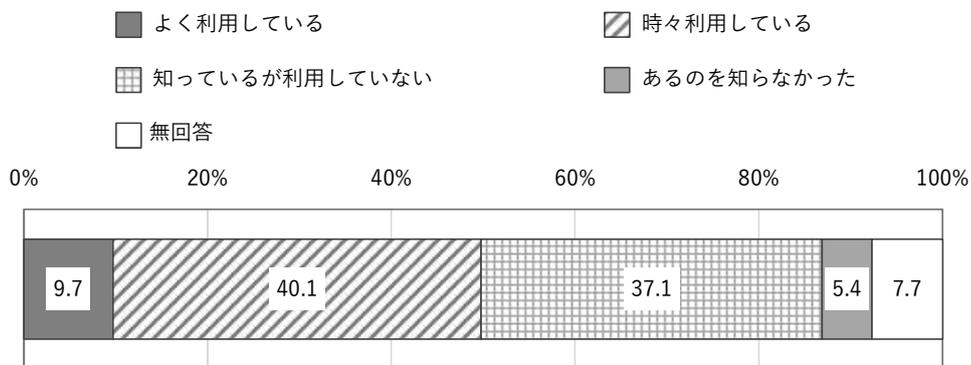
単位：%

		n (人)	よく 利用 して いる	時 々 利 用 し て い る	利 用 し て い る が 知 っ て い る が い な い	あ る の を 知 ら な か っ た	無 回 答	『 利 用 し て い る 』 計
全 体		1865	3.5	14.1	47.2	27.2	7.9	17.6
年 齢 別	18～29歳	149	2.0	8.7	38.9	49.0	1.3	10.7
	30～49歳	499	3.0	14.6	46.3	34.3	1.8	17.6
	50～64歳	530	2.3	13.6	50.6	28.7	4.9	15.9
	65歳以上	677	5.2	15.5	47.1	15.8	16.4	20.7
推 奨 度 別	すすめたくない（0～4）	106	0.9	9.4	50.9	26.4	12.3	10.3
	どちらでもない（5）	349	3.4	13.5	48.1	26.9	8.0	16.9
	すすめたい（6～10）	1352	3.8	15.2	47.3	27.9	5.8	19.0
参 加 意 欲 別	参加したくない（0～4）	481	1.5	7.1	46.6	35.3	9.6	8.6
	どちらでもない（5）	420	2.6	9.3	51.7	32.1	4.3	11.9
	参加したい（6～10）	877	5.4	20.5	47.1	21.6	5.5	25.9

(ウ) 市ホームページについて

- 市ホームページの利用頻度については、「時々利用している」が 40.1%と最も高く、「よく利用している」と合わせた『利用している』割合は 49.8%と5割近くを占めている。
- 年齢（4区分）別にみると、「18～29 歳」で「あるのを知らなかった」が 10.1%と1割を占めている。
- 西宮の魅力の推奨度別にみると、推奨度が上がるにつれ、『利用している』の割合が高くなる傾向がみられ、「すすめたい（6～10）」では 54.3%となっている。
- 西宮の活動への参加意欲別にみると、参加意欲が上がるにつれ、『利用している』の割合が高くなる傾向がみられ、「参加したい（6～10）」では 56.4%となっている。

(n=1,865)



■年齢（4区分）・西宮の魅力の推奨度・西宮の活動への参加意欲別 市ホームページの利用頻度

単位：%

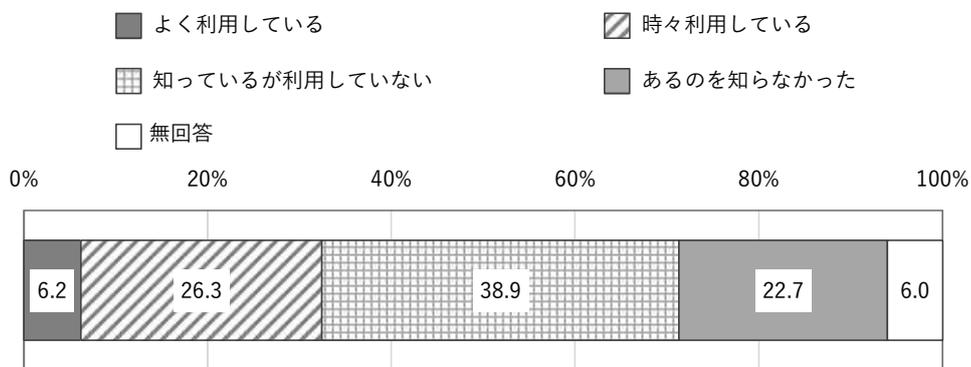
		n (人)	よく 利用 して いる	時 々 利 用 し て い る	利 用 し て い る が 知 ら な か っ た	あ る の を 知 ら な か っ た	無 回 答	『 利 用 し て い る 』 計
全 体		1865	9.7	40.1	37.1	5.4	7.7	49.8
年 齢 別	18～29 歳	149	4.0	33.6	50.3	10.1	2.0	37.6
	30～49 歳	499	13.8	54.1	27.9	3.0	1.2	67.9
	50～64 歳	530	11.3	49.2	33.4	2.5	3.6	60.5
	65 歳以上	677	6.8	24.1	43.9	8.3	17.0	30.9
推 奨 度 別	すすめたくない（0～4）	106	9.4	27.4	40.6	12.3	10.4	36.8
	どちらでもない（5）	349	7.7	33.8	44.4	6.0	8.0	41.5
	すすめたい（6～10）	1352	10.7	43.6	35.3	4.7	5.7	54.3
参 加 意 欲 別	参加したくない（0～4）	481	7.7	35.1	38.7	9.8	8.7	42.8
	どちらでもない（5）	420	9.3	40.7	38.8	6.4	4.8	50.0
	参加したい（6～10）	877	11.7	44.7	35.8	2.7	5.0	56.4

(エ) 市民べんり帳について

※利用者の母数が少ないため、年齢（4区分）別、参加意欲別のみとしている。

- 市民べんり帳の利用頻度については、「知っているが利用していない」が38.9%と4割近くを占め最も高くなっている。「よく利用している」・「時々利用している」と合わせた『利用している』割合は32.5%となっている。
- 年齢（4区分）別にみると、年齢区分が上がるにつれ『利用している』の割合が高くなる傾向がみられ、「65歳以上」では46.5%となっている。一方で、「18～29歳」で「あるのを知らなかった」が69.8%と7割近くを占め、全体より47.1ポイント高くなっている。
- 西宮の活動への参加意欲別にみると、参加意欲が上がるにつれ、『利用している』の割合が高くなる傾向がみられ、「参加したい（6～10）」では36.5%となっている。

(n=1,865)



■年齢（4区分）・西宮の活動への参加意欲別 市民べんり帳の利用頻度

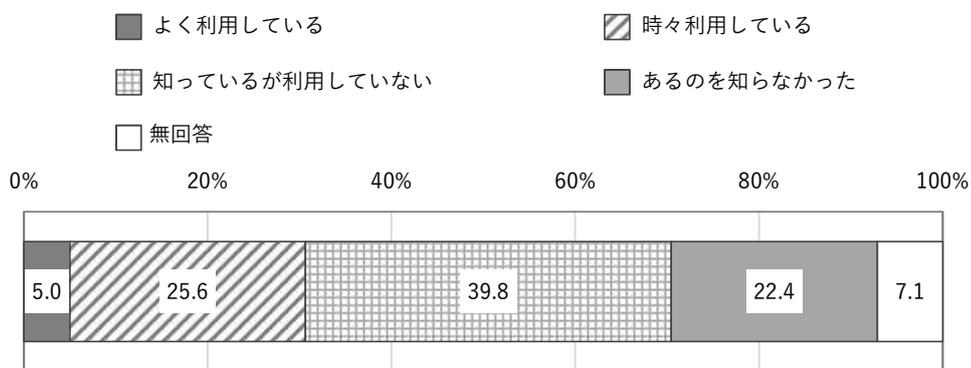
単位：%

		n (人)	よく 利用 して いる	時 々 利 用 し て い る	知 っ て い る が 利 用 し て い な い	あ る の を 知 ら な か っ た	無 回 答	『利 用 し て い る』 計
全 体		1865	6.2	26.3	38.9	22.7	6.0	32.5
年 齢 別	18～29 歳	149	0.7	6.0	21.5	69.8	2.0	6.7
	30～49 歳	499	1.4	18.6	47.9	30.7	1.4	20.0
	50～64 歳	530	5.1	28.7	45.8	17.2	3.2	33.8
	65 歳以上	677	11.8	34.7	30.7	10.3	12.4	46.5
参 加 意 欲 別	参加したくない (0～4)	481	5.4	21.0	36.6	29.1	7.9	26.4
	どちらでもない (5)	420	4.3	26.7	41.7	24.3	3.1	31.0
	参加したい (6～10)	877	7.4	29.1	40.0	19.8	3.6	36.5

(オ) 市発行のチラシやパンフレットについて

- 市発行のチラシやパンフレットについては、「知っているが利用していない」が39.8%と4割近くを占め最も高くなっている。「よく利用している」・「時々利用している」と合わせた『利用している』割合は30.6%となっている。
- 年齢（4区分）別にみると、年齢区分が下がるにつれ「あるのを知らなかった」が高くなる傾向がみられ、「18～29歳」では47.7%と全体より25.3ポイント高くなっている。
- 西宮の魅力の推奨度別にみると、推奨度が上がるにつれ、『利用している』の割合が高くなる傾向がみられ、「すすめたい（6～10）」では33.3%と3割を超えている。
- 西宮の活動への参加意欲別にみると、参加意欲が上がるにつれ、『利用している』の割合が高くなる傾向がみられ、「参加したい（6～10）」では39.7%と4割近くを占めている。

(n=1,865)



■年齢（4区分）・西宮の魅力の推奨度・西宮の活動への参加意欲別 市発行のチラシやパンフレットの利用頻度

単位：%

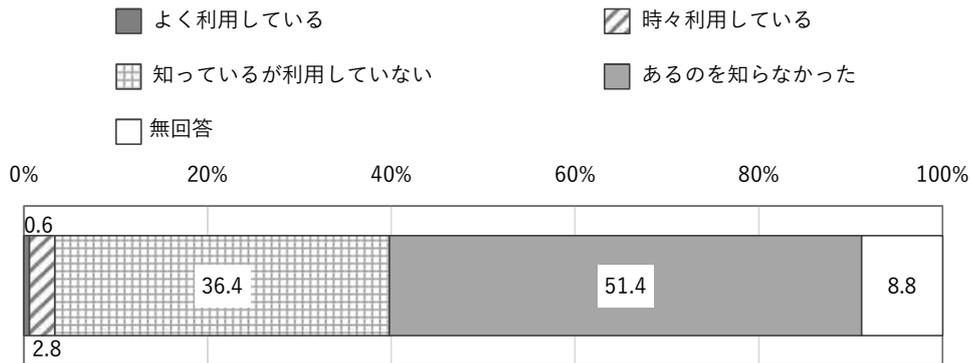
		n (人)	よく 利用 して いる	時 々 利 用 し て い る	利 用 し て い る が 知 っ て い な い	あ る の を 知 ら な か っ た	無 回 答	『 利 用 し て い る 』 計
全 体		1865	5.0	25.6	39.8	22.4	7.1	30.6
年 齢 別	18～29歳	149	3.4	12.1	34.2	47.7	2.7	15.5
	30～49歳	499	3.4	28.3	39.7	26.7	2.0	31.7
	50～64歳	530	4.0	25.3	42.1	24.5	4.2	29.3
	65歳以上	677	7.5	27.0	39.4	11.8	14.2	34.5
推 奨 度 別	すすめたくない（0～4）	106	0.0	17.9	43.4	28.3	10.4	17.9
	どちらでもない（5）	349	4.9	22.9	41.8	24.1	6.3	27.8
	すすめたい（6～10）	1352	5.5	27.8	39.3	22.1	5.3	33.3
参 加 意 欲 別	参加したくない（0～4）	481	3.5	16.4	38.0	33.1	8.9	19.9
	どちらでもない（5）	420	3.6	22.1	45.7	25.0	3.6	25.7
	参加したい（6～10）	877	6.5	33.2	39.2	16.5	4.6	39.7

(カ) 市公式 Twitter (ツイッター) について

※利用者の母数が少ないため、年齢（4区分）別のみとしている。

- 市公式 Twitter (ツイッター) については、「あるのを知らなかった」が51.4%と5割を占め最も高くなっている。「よく利用している」・「時々利用している」と合わせた『利用している』割合は3.4%となっている。
- 年齢（4区分）別にみると、「30～49歳」で「あるのを知らなかった」が61.9%と6割を占め、全体より10.5ポイント高くなっている。

(n=1,865)



■年齢（4区分）別 市公式 Twitter (ツイッター) の利用頻度

単位：%

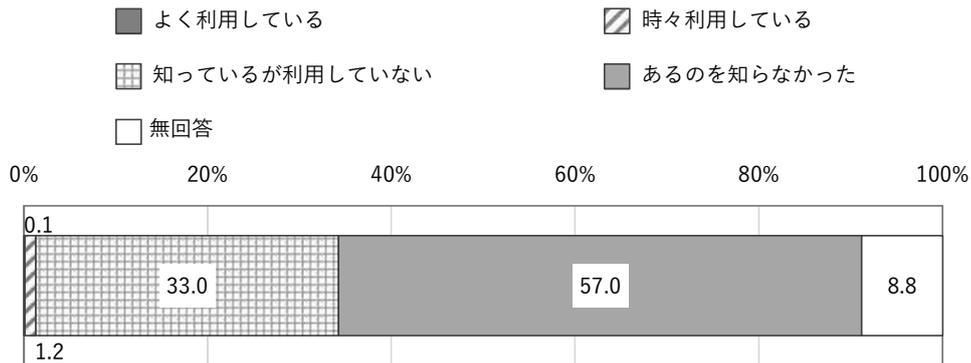
	n (人)	よく利用している	時々利用している	知っているが利用していない	あるのを知らなかった	無回答	『利用している』計
全体	1865	0.6	2.8	36.4	51.4	8.8	3.4
18～29歳	149	0.7	4.7	32.9	59.1	2.7	5.4
30～49歳	499	0.8	3.0	33.1	61.9	1.2	3.8
50～64歳	530	0.6	3.0	38.9	53.6	4.0	3.6
65歳以上	677	0.6	2.1	38.0	39.6	19.8	2.7

(キ) 市公式 Facebook (フェイスブック) について

※利用者の母数が少ないため、年齢(4区分)別のみとしている。

- 市公式 Facebook (フェイスブック) については、「あるのを知らなかった」が 57.0%と5割を超え最も高くなっている。「よく利用している」・「時々利用している」と合わせた『利用している』割合は 1.3%となっている。
- 年齢(4区分)別にみると、年齢区分が下がるにつれ「あるのを知らなかった」が高くなる傾向がみられ、「18~29歳」では71.8%と7割を占め、全体より14.8ポイント高くなっている。

(n=1,865)



■年齢(4区分)別 市公式 Facebook (フェイスブック) の利用頻度

単位：%

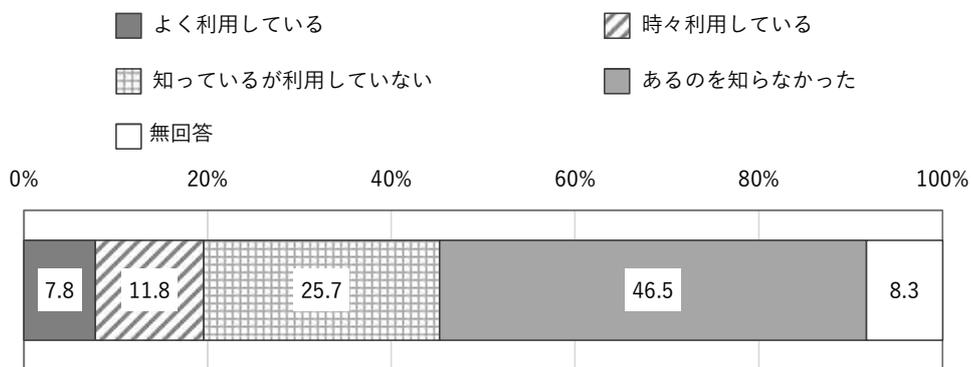
	n (人)	よく利用している	時々利用している	知っているが利用していない	あるのを知らなかった	無回答	『利用している』計
全体	1865	0.1	1.2	33.0	57.0	8.8	1.3
18~29歳	149	0.0	1.3	24.2	71.8	2.7	1.3
30~49歳	499	0.0	1.0	30.5	67.1	1.4	1.0
50~64歳	530	0.0	0.9	36.2	58.9	4.0	0.9
65歳以上	677	0.1	1.5	34.6	44.3	19.5	1.6

(ク) 市公式 LINE (ライン) について

※利用者の母数が少ないため、年齢（4区分）別、参加意欲別のみとしている。

- 市公式 LINE (ライン) については、「あるのを知らなかった」が 46.5%と4割を超え最も高くなっている。「よく利用している」・「時々利用している」と合わせた『利用している』割合は 19.6%となっている。
- 年齢（4区分）別にみると、「30～49 歳」で『利用している』の割合が 34.2%と3割を超え、全体より 14.6 ポイント高くなっている。一方で、「18～29 歳」では「あるのを知らなかった」が 55.7%と5割を超え、全体より 9.2 ポイント高くなっている。
- 西宮の活動への参加意欲別にみると、参加意欲が上がるにつれ、『利用している』の割合が高くなる傾向がみられ、「参加したい（6～10）」では 21.3%と2割を超えている。

(n=1,865)



■年齢（4区分）・西宮の活動への参加意欲別 市公式 LINE (ライン) の利用頻度

単位：%

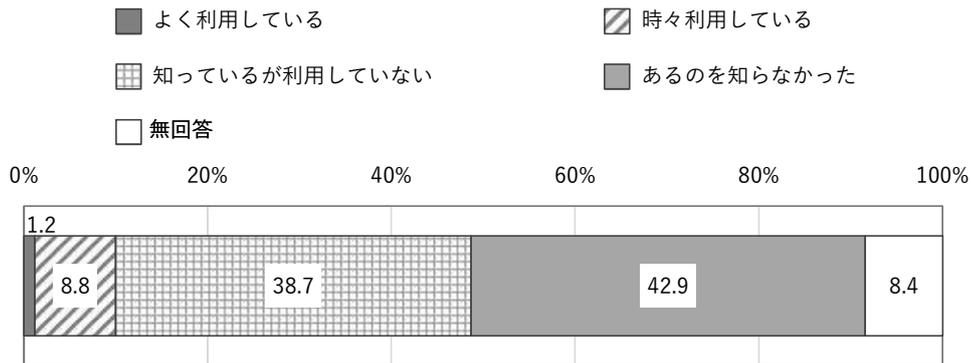
		n (人)	よく 利用 している	時々 利用 している	知 っ て い る が 利 用 し て い な い	あ る の を 知 ら な か っ た	無 回 答	『 利 用 し て い る 』 計
全 体		1865	7.8	11.8	25.7	46.5	8.3	19.6
年 齢 別	18～29 歳	149	8.7	7.4	24.8	55.7	3.4	16.1
	30～49 歳	499	13.0	21.2	19.0	45.5	1.2	34.2
	50～64 歳	530	9.6	12.5	25.5	49.1	3.4	22.1
	65 歳以上	677	2.4	5.3	31.3	42.5	18.5	7.7
参 加 意 欲 別	参加したくない (0～4)	481	6.9	11.2	21.6	51.1	9.1	18.1
	どちらでもない (5)	420	6.7	12.6	27.9	48.6	4.3	19.3
	参加したい (6～10)	877	9.4	11.9	28.4	44.0	6.4	21.3

(ケ) ケーブルテレビの市広報番組「フロムにしのみや」について

※利用者の母数が少ないため、年齢（4区分）別のみとしている。

- ケーブルテレビの市広報番組「フロムにしのみや」については、「あるのを知らなかった」が42.9%と4割を超え最も高くなっている。「よく利用している」・「時々利用している」と合わせた『利用している』割合は10.0%となっている。
- 年齢（4区分）別にみると、年齢区分が下がるにつれ、「あるのを知らなかった」が高くなる傾向がみられ、「18～29歳」では67.1%と6割を超え、全体より24.2ポイント高くなっている。

(n=1,865)



■年齢（4区分）別 ケーブルテレビの市広報番組「フロムにしのみや」の利用頻度

単位：%

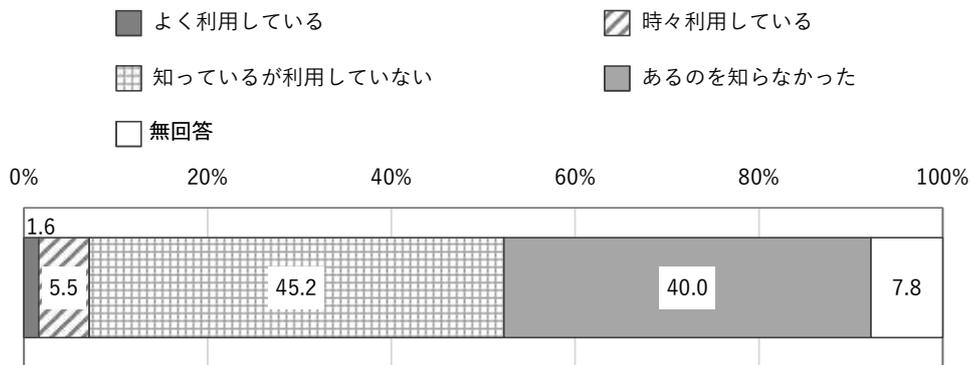
	n (人)	よく利用している	時々利用している	知っているが利用していない	あるのを知らなかった	無回答	『利用している』計
全体	1865	1.2	8.8	38.7	42.9	8.4	10.0
18～29歳	149	0.7	4.7	24.8	67.1	2.7	5.4
30～49歳	499	0.6	7.4	38.5	51.9	1.6	8.0
50～64歳	530	1.3	10.2	47.5	36.8	4.2	11.5
65歳以上	677	1.8	9.6	34.9	35.7	18.0	11.4

(コ) ラジオ「さくらFM」について

※利用者の母数が少ないため、年齢（4区分）別のみとしている。

- ラジオ「さくらFM」については、「知っているが利用していない」が45.2%と4割を超え最も高くなっている。「よく利用している」・「時々利用している」と合わせた『利用している』割合は7.1%となっている。
- 年齢（4区分）別にみると、年齢区分が下がるにつれ、「あるのを知らなかった」が高くなる傾向がみられ、「18～29歳」では61.1%と6割を超え、全体より21.1ポイント高くなっている。

(n=1,865)



■年齢（4区分）別 ラジオ「さくらFM」の利用頻度

単位：%

	n (人)	よく利用している	時々利用している	知っているが利用していない	あるのを知らなかった	無回答	『利用している』計
全体	1865	1.6	5.5	45.2	40.0	7.8	7.1
18～29歳	149	0.7	4.0	32.2	61.1	2.0	4.7
30～49歳	499	0.6	3.0	45.7	49.3	1.4	3.6
50～64歳	530	1.3	6.4	54.3	34.2	3.8	7.7
65歳以上	677	2.7	6.8	40.6	32.9	17.0	9.5

施策に向けての一言 <西宮に対する思いについて>

調査結果を検討する前に、問 17 から問 20 までの質問について述べておきたい。まず、これらの設問の結果について、西宮市の施策のあり方などを検討する際にどのような点で有用な資料となるかを十分に理解することができない点に問題がある。また、方法論的観点から見ても、質問文が抽象的で何を尋ねられているのか不明瞭、11 件尺度は認知負荷が高く行政が主体となり実施する意識調査の尺度として適切さに欠ける、問 19 で「0～4」とすべきところを中間的な選択肢も含めて尋ねている、などの問題もある。これらの点については、今後の改善が期待される場所である。

『西宮市民意識調査』はあくまで「今後の市政推進」に資するデータを得るために行われる調査である。したがって、調査目的から大きく逸脱、あるいは、どのような点で市政に資する調査と言えるかが不明瞭な設問については、原則として調査票に組み入れることを避けるべきだろう。何らかの事情ゆえに組み込む必要があるとしても、可能な限り認知負荷を低減するなど、市民の負担を軽減するための工夫は必要である。上述した設問は、これらの事項について十分に考慮されていないように見受けられる。

これらの問題があると判断したため、以下では、西宮市が行っている広報に関する設問（問 21）の結果についてのみ検討していく。西宮市は現在、様々な媒体を通じて市の情報などを伝えている。この点について、媒体ごとに利用頻度を調査したところ、「広報紙（市政ニュース）」の利用頻度が群を抜いて高く、7 割近い回答者が「利用している（よく＋時々）」を選択していた。その一方で、「市民べんり帳」「（その他の）チラシやパンフレット」については、「利用している（よく＋時々）」の回答割合が 3 割程度と低く、同じ紙の媒体であっても、広報紙とそれ以外では利用頻度に大きな差がある実態が判明した。

「広報紙」の利用者を見ると、やはり若年層（18～29 歳）の利用率が低いという結果となった。この層の多くは広報紙を認知していないので、若年層に対する、広報紙の認知度を高める施策等が必要である。年齢に関わりなく多くの人々が利用する媒体は「ホームページ」である。市のウェブサイトは頻繁にアクセスされ、今は高齢の市民もサイトを閲覧する時代である。西宮市のホームページをより見やすく、また、わかりやすくする必要は引き続き求められるだろう。

「市公式 Facebook」「市公式 LINE」は、ソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）を利用する機会の多い若年世代の回答者さえ、半数以上が「あるのを知らなかった」と回答していた。これらについては、認知度が著しく低いところに課題がある。これらの認知度を上げる必要があるかどうかは判断が難しいところではあるが、現在、SNS を利用した情報発信は活発に行われている。多くの媒体を通じて市政に関わる情報を伝える努力は否定されるべきではなく、したがって、SNS の認知度を高めていくことも重要な課題である。

（関西学院大学 善教将大）

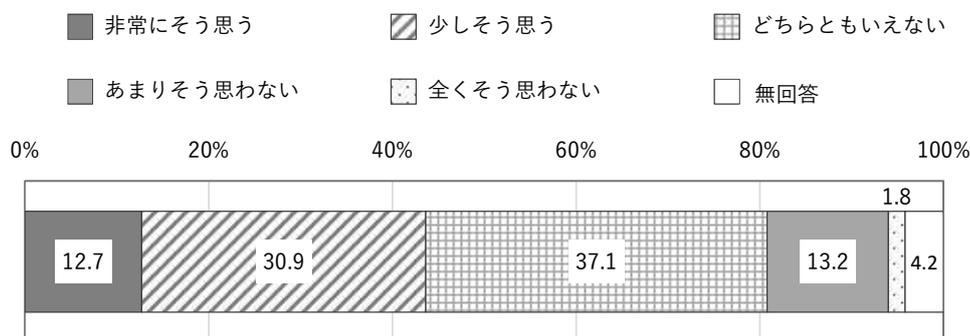
人権問題について

西宮市では、平成30年度（2018年度）に第2次西宮市人権教育・啓発に関する基本計画を策定しました。その後、新型コロナウイルス感染症に関する差別などが新たな人権課題として認識され、SNS等での誹謗・中傷等の人権問題も拡大しております。そこで、市民のみなさまのご意見をうかがい、今後の人権啓発活動に役立てたいと考えています。

問 22. あなたは、身の回りで人権が尊重されていると思いますか。（1つ選んで○）

- 身の回りで人権が尊重されていると思うかについては、「どちらともいえない」が37.1%と最も高く、次いで「少しそう思う」（30.9%）となっている。また、「非常にそう思う」と「少しそう思う」を合わせた『そう思う』割合は43.6%と4割を超えている。
- 性年齢（10歳刻み）別にみると、「20歳代男性」で『そう思う』割合が71.7%と7割を超えている。

(n=1,865)



■性年齢（10歳刻み）別 身の回りで人権が尊重されていると思うか

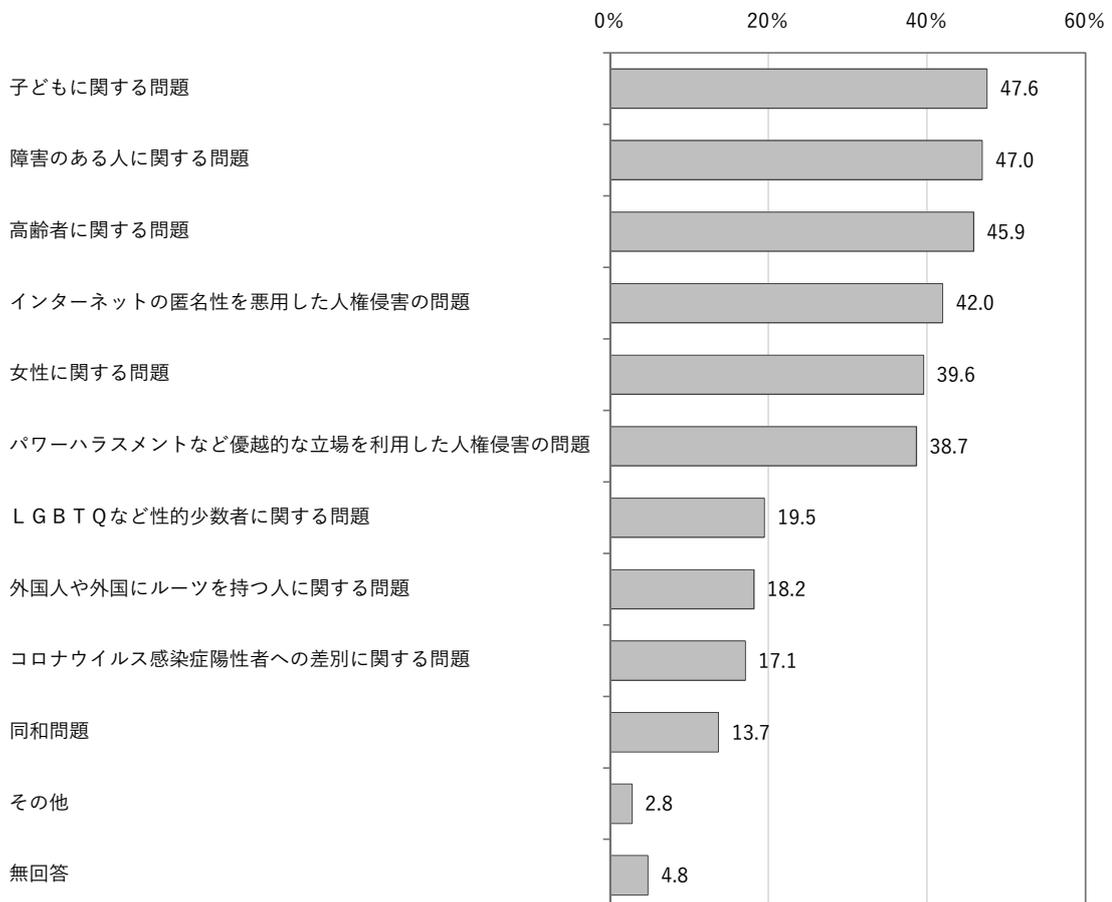
単位：%

		n (人)	非常に そう思う	少し そう思う	どちら ともい えない	あまり そう思 わない	全く そう思 わない	無回 答	『そう 思う』 計	『そう 思わな い』計
全 体		1865	12.7	30.9	37.1	13.2	1.8	4.2	43.6	15.0
10 歳代	男性	14	57.1	7.1	14.3	21.4	0.0	0.0	64.2	21.4
	女性	16	18.8	31.3	37.5	12.5	0.0	0.0	50.1	12.5
20 歳代	男性	46	32.6	39.1	15.2	8.7	2.2	2.2	71.7	10.9
	女性	66	19.7	31.8	36.4	12.1	0.0	0.0	51.5	12.1
30 歳代	男性	67	17.9	40.3	26.9	11.9	3.0	0.0	58.2	14.9
	女性	100	21.0	33.0	25.0	16.0	1.0	4.0	54.0	17.0
40 歳代	男性	103	13.6	27.2	42.7	9.7	3.9	2.9	40.8	13.6
	女性	192	15.1	30.2	41.7	9.4	1.6	2.1	45.3	11.0
50 歳代	男性	133	11.3	34.6	32.3	18.0	3.8	0.0	45.9	21.8
	女性	216	8.8	31.5	39.4	15.7	1.4	3.2	40.3	17.1
60 歳代	男性	123	10.6	32.5	39.8	14.6	0.8	1.6	43.1	15.4
	女性	178	9.0	32.0	38.2	14.0	1.7	5.1	41.0	15.7
70 歳代	男性	134	8.2	26.9	40.3	17.2	3.0	4.5	35.1	20.2
	女性	194	10.8	28.4	37.6	11.9	1.5	9.8	39.2	13.4
80 歳 以上	男性	65	3.1	36.9	29.2	16.9	0.0	13.8	40.0	16.9
	女性	113	11.5	30.1	38.1	9.7	1.8	8.8	41.6	11.5

問 23. 日本の社会には人権にかかわる色々な問題がありますが、あなたが関心を持っているものは何ですか。（あてはまるものをすべて選んで○）

- 関心を持っている人権問題については、「子どもに関する問題」が47.6%と最も高く、次いで「障害のある人に関する問題」（47.0%）、「高齢者に関する問題」（45.9%）、「インターネットの匿名性を悪用した人権侵害の問題」（42.0%）となっている。
- 性年齢（10歳刻み）別にみると、「10歳代女性」・「20歳代女性」で「女性に関する問題」が20ポイント程度、「外国人や外国にルーツを持つ人に関する問題」が10ポイント程度、それぞれ全体より高くなっている。
- 「10歳代女性」で「LGBTQなど性的少数者に関する問題」が62.5%と全体より43.0ポイント高くなっている。
- 「30歳代女性」で「子どもに関する問題」が69.0%と7割近くを占め全体より21.4ポイント高くなっている。
- 「40歳代男性」・「50歳代女性」で「パワーハラスメントなど優越的な立場を悪用した人権侵害の問題」が5割を占め、全体より10ポイント程度高くなっている。
- 「50歳代男性」で「インターネットの匿名性を悪用した人権侵害の問題」が60.2%と6割を占め、全体より18.2ポイント高くなっている。
- 「80歳以上男性」で「高齢者に関する問題」が72.3%と7割を超え、全体より26.4ポイント高くなっている。

(n=1,865)



■性年齢（10歳刻み）別 関心を持っている人権問題

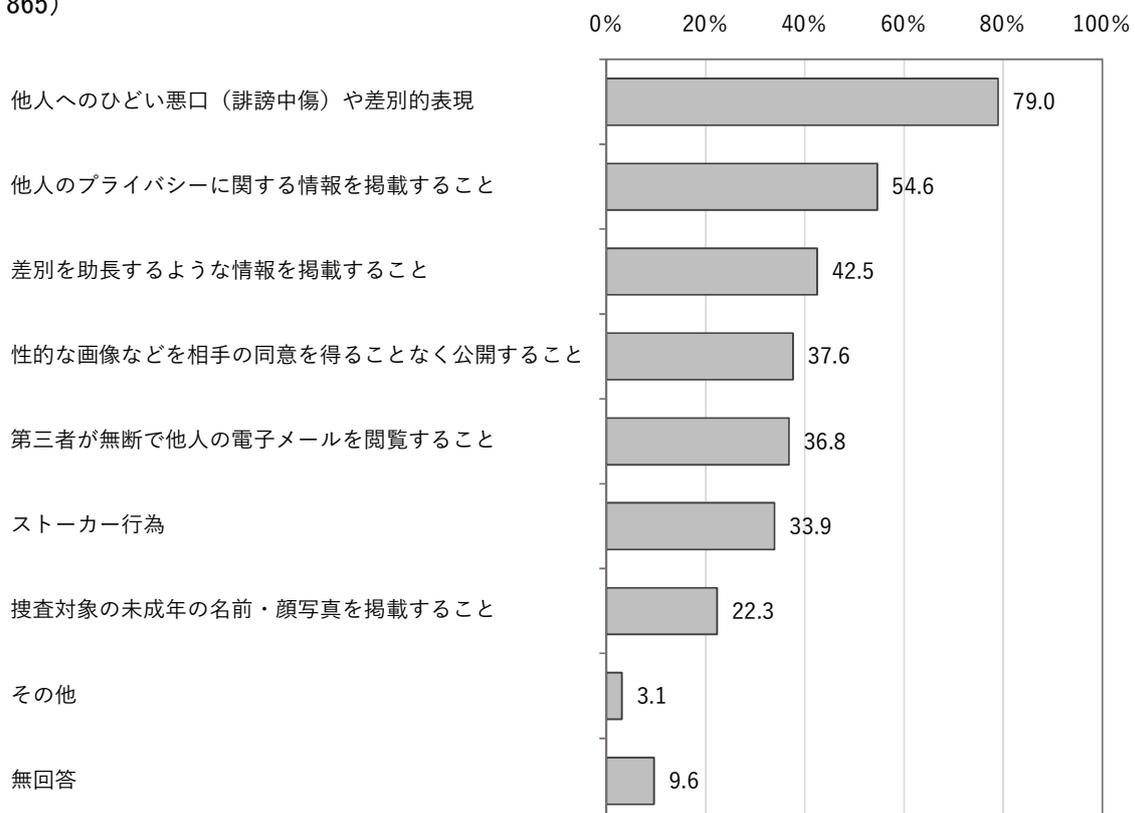
単位：%

		n (人)	女性に関する問題	子どもに関する問題	高齢者に関する問題	障害のある人に関する問題	同和問題	外国人や外国にルーツを持つ人に関する問題	インターネットの匿名性を悪用した人権侵害の問題	コロナウイルス感染症陽性者への差別に関する問題	LGBTQなどの性的少数者に関する問題	パワーハラスメントなど優越的な立場を悪用した人権侵害の問題	その他	無回答
全体		1865	39.6	47.6	45.9	47.0	13.7	18.2	42.0	17.1	19.5	38.7	2.8	4.8
10歳代	男性	14	7.1	42.9	21.4	50.0	21.4	21.4	42.9	21.4	28.6	42.9	7.1	0.0
	女性	16	68.8	50.0	18.8	50.0	0.0	31.3	43.8	18.8	62.5	43.8	0.0	0.0
20歳代	男性	46	17.4	41.3	6.5	21.7	4.3	15.2	50.0	13.0	26.1	34.8	4.3	6.5
	女性	66	63.6	50.0	18.2	33.3	10.6	33.3	47.0	13.6	43.9	40.9	0.0	4.5
30歳代	男性	67	34.3	67.2	17.9	34.3	9.0	20.9	31.3	7.5	22.4	31.3	1.5	4.5
	女性	100	52.0	69.0	18.0	38.0	5.0	23.0	49.0	9.0	30.0	35.0	1.0	1.0
40歳代	男性	103	29.1	56.3	26.2	37.9	10.7	18.4	49.5	16.5	18.4	50.5	3.9	1.9
	女性	192	53.6	62.0	37.0	50.0	11.5	19.3	48.4	17.2	26.0	39.1	0.0	3.1
50歳代	男性	133	29.3	48.1	45.1	51.9	16.5	18.0	60.2	19.5	16.5	45.1	3.0	1.5
	女性	216	55.1	44.4	47.2	47.7	18.1	23.1	49.5	20.4	24.1	51.9	2.3	3.7
60歳代	男性	123	33.3	35.8	48.8	53.7	19.5	19.5	43.1	14.6	17.1	46.3	9.8	3.3
	女性	178	48.3	46.6	61.2	53.9	16.3	19.1	41.0	24.7	21.9	43.3	3.4	2.8
70歳代	男性	134	26.9	35.8	58.2	49.3	17.9	11.9	37.3	18.7	11.2	32.1	0.7	9.0
	女性	194	31.4	41.8	67.0	51.0	8.8	10.3	32.0	14.9	6.7	32.0	2.1	9.8
80歳以上	男性	65	21.5	36.9	72.3	50.8	16.9	18.5	13.8	12.3	6.2	20.0	1.5	6.2
	女性	113	26.5	35.4	65.5	44.2	12.4	6.2	18.6	16.8	4.4	17.7	2.7	13.3

問 24. インターネットやSNS（例：ツイッター、インスタグラムなど）を悪用した人権侵害について、あなたが関心を持っているものはどのようなことですか。（あてはまるものをすべて選んで○）

- インターネット・SNSを悪用した人権侵害で関心のあるものについては、「他人へのひどい悪口（誹謗中傷）や差別的表現」が 79.0%と最も高く、次いで「他人のプライバシーに関する情報を掲載すること」（54.6%）、「差別を助長するような情報を掲載すること」（42.5%）となっている。
- 性年齢（10 歳刻み）別にみると、「10 歳代男性」で「捜査対象の未成年の名前・顔写真を掲載すること」が 42.9%と 4 割を超え、全体より 20.6 ポイント高くなっている。
- 「30 歳代女性」で「性的な画像などを相手の同意を得ることなく公開すること」が 48.0%と 5 割近くを占め、全体より 10.4 ポイント高くなっている。
- 「50 歳代男性」で「他人へのひどい悪口（誹謗中傷）や差別的表現」が 12.7 ポイント、「差別を助長するような情報を掲載すること」が 10.1 ポイント、それぞれ全体より高くなっている。
- 「60 歳代男性」で「差別を助長するような情報を掲載すること」が 53.7%と 5 割を超え、全体より 11.2 ポイント高くなっている。
- 「60 歳代女性」で「他人のプライバシーに関する情報を掲載すること」が 68.5%と 7 割近くを占め、全体より 13.9 ポイント高くなっている。
- 職業別にみると、「有業主婦・主夫（臨時社員・職員、パートなど）」で「性的な画像などを相手の同意を得ることなく公開すること」が 12.8 ポイント、「他人のプライバシーに関する情報を掲載すること」が 10.1 ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

(n=1,865)



■性年齢（10歳刻み）別 インターネット・SNSを悪用した人権侵害で関心のあるもの

単位：%

		n (人)	他人へのひどい悪口（誹謗中傷）や差別的表現	性的な画像などを相手の同意を得ることなく公開すること	捜査対象の未成年の名前・顔写真を掲載すること	第三者が無断で他人の電子メールを閲覧すること	差別を助長するような情報を掲載すること	他人のプライバシーに関する情報を掲載すること	ストーカー行為	その他	無回答
全 体		1865	79.0	37.6	22.3	36.8	42.5	54.6	33.9	3.1	9.6
10 歳代	男性	14	64.3	28.6	42.9	14.3	35.7	28.6	28.6	14.3	14.3
	女性	16	87.5	25.0	25.0	25.0	43.8	62.5	43.8	0.0	6.3
20 歳代	男性	46	65.2	13.0	10.9	23.9	34.8	47.8	23.9	2.2	6.5
	女性	66	87.9	37.9	24.2	31.8	39.4	59.1	39.4	1.5	3.0
30 歳代	男性	67	79.1	17.9	9.0	17.9	35.8	38.8	16.4	3.0	3.0
	女性	100	87.0	48.0	21.0	41.0	43.0	54.0	35.0	1.0	4.0
40 歳代	男性	103	86.4	34.0	22.3	37.9	38.8	54.4	37.9	1.0	3.9
	女性	192	84.4	47.4	25.0	40.6	42.7	63.5	34.9	0.5	5.7
50 歳代	男性	133	91.7	39.1	19.5	40.6	52.6	57.9	35.3	2.3	4.5
	女性	216	87.0	45.8	27.8	42.6	42.1	62.0	42.6	2.8	3.7
60 歳代	男性	123	86.2	35.8	23.6	43.1	53.7	61.8	34.1	4.1	4.9
	女性	178	81.5	42.7	30.3	46.1	51.7	68.5	44.4	3.9	6.2
70 歳代	男性	134	70.9	30.6	17.9	35.8	43.3	53.0	27.6	2.2	15.7
	女性	194	70.6	38.1	24.2	34.5	36.6	44.3	32.5	3.6	18.6
80 歳以上	男性	65	55.4	30.8	12.3	23.1	36.9	38.5	23.1	10.8	21.5
	女性	113	52.2	22.1	11.5	23.0	27.4	34.5	19.5	7.1	34.5

■職業別 インターネット・SNSを悪用した人権侵害で関心のあるもの

単位：%

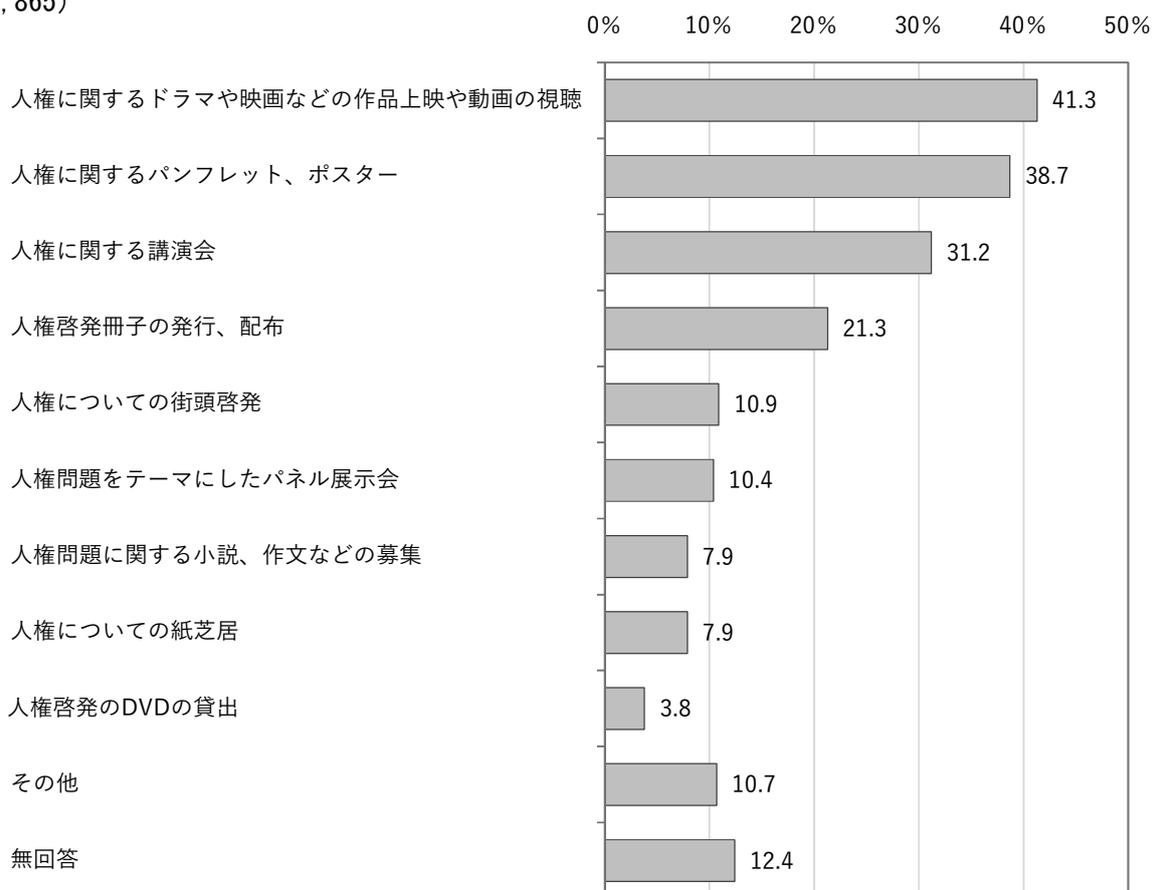
	n (人)	差別的表現 他人へのひどい悪口(誹謗中傷)や	性的な画像などを相手の同意を得ることなく公開すること	掲載すること 捜査対象の未成年の名前・顔写真を	第三者が無断で他人の電子メールを 閲覧すること	差別を助長するような情報を 掲載すること	他人のプライバシーに関する情報を 掲載すること	ストーカー行為	その他
全 体	1865	79.0	37.6	22.3	36.8	42.5	54.6	33.9	3.1
給与生活者	675	84.1	36.7	21.5	35.1	43.1	54.2	34.5	2.2
自営業	100	84.0	35.0	22.0	46.0	50.0	55.0	34.0	3.0
有業主婦・主夫	232	87.5	50.4	26.7	40.5	47.4	64.7	38.8	2.2
専業主婦・主夫	228	78.9	43.0	26.3	44.7	39.0	59.6	36.4	2.2
年金生活者	351	68.4	34.2	20.2	34.5	40.2	47.3	29.3	4.8
学生	64	75.0	25.0	21.9	23.4	39.1	54.7	34.4	3.1
無職	107	61.7	29.0	17.8	29.9	33.6	42.1	28.0	5.6
その他	41	90.2	39.0	29.3	46.3	46.3	73.2	43.9	2.4
	n (人)	無回答							
全 体	1865	9.6							
給与生活者	675	5.2							
自営業	100	7.0							
有業主婦・主夫	232	3.9							
専業主婦・主夫	228	8.3							
年金生活者	351	19.7							
学生	64	4.7							
無職	107	23.4							
その他	41	4.9							

問 25. あなたは、効果的な人権啓発活動はどのようなものだと思いますか。

(あてはまるものをすべて選んで○)

- 効果的な人権啓発活動については、「人権に関するドラマや映画などの作品上映や動画の視聴」が 41.3%と最も高く、次いで「人権に関するパンフレット、ポスター」(38.7%)、「人権に関する講演会」(31.2%)となっている。
- 性年齢(10歳刻み)別にみると、「10歳代女性」で「人権に関するドラマや映画などの作品上映や動画の視聴」、「人権問題に関する小説、作文などの募集」が、全体より20ポイント程度高くなっている。
- 「70歳代男性」で「人権に関するパンフレット、ポスター」が49.3%と5割近くを占め、全体より10.6ポイント高くなっている。
- 職業別にみると、「有業主婦・主夫(臨時社員・職員、パートなど)」で「人権に関するドラマや映画などの作品上映や動画の視聴」が51.3%と5割を超え、全体より10.0ポイント高くなっている。
- 「学生」で「人権に関するドラマや映画などの作品上映や動画の視聴」が16.5ポイント、「人権問題に関する小説、作文などの募集」が15.5ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

(n=1,865)



■性年齢（10歳刻み）別 効果的な人権啓発活動

単位：%

		n (人)	人権に関する講演会	人権に関するパンフレット、ポスター	人権に関するドラマや映画などの作品上映や動画の視聴	人権についての街頭啓発	人権問題をテーマにしたパネル展示会	人権啓発のDVDの貸出	人権啓発冊子の発行、配布	人権問題に関する小説、作文などの募集	人権についての紙芝居	その他	無回答
全 体		1865	31.2	38.7	41.3	10.9	10.4	3.8	21.3	7.9	7.9	10.7	12.4
10歳代	男性	14	21.4	28.6	50.0	21.4	0.0	0.0	14.3	14.3	14.3	7.1	14.3
	女性	16	37.5	31.3	62.5	12.5	6.3	12.5	25.0	37.5	12.5	12.5	0.0
20歳代	男性	46	21.7	30.4	43.5	13.0	8.7	4.3	13.0	10.9	10.9	13.0	8.7
	女性	66	19.7	25.8	59.1	6.1	3.0	4.5	18.2	19.7	13.6	10.6	3.0
30歳代	男性	67	17.9	34.3	46.3	10.4	7.5	3.0	16.4	4.5	10.4	10.4	6.0
	女性	100	26.0	34.0	52.0	13.0	8.0	0.0	9.0	12.0	9.0	10.0	7.0
40歳代	男性	103	28.2	35.0	34.0	14.6	4.9	1.9	17.5	3.9	8.7	18.4	5.8
	女性	192	31.3	39.1	45.3	8.3	12.0	4.2	15.1	6.3	14.6	13.0	9.4
50歳代	男性	133	32.3	30.1	42.1	11.3	4.5	1.5	18.8	4.5	6.8	20.3	10.5
	女性	216	32.4	43.5	56.5	10.6	8.3	3.7	23.6	9.3	6.0	10.2	6.5
60歳代	男性	123	36.6	44.7	37.4	11.4	16.3	8.1	22.8	9.8	8.1	12.2	8.9
	女性	178	39.9	46.1	41.6	12.4	12.9	4.5	30.3	9.0	8.4	7.3	10.7
70歳代	男性	134	37.3	49.3	33.6	14.2	19.4	6.0	29.1	4.5	5.2	7.5	14.9
	女性	194	31.4	41.2	29.9	7.2	12.9	4.6	25.3	6.7	5.2	5.7	23.2
80歳以上	男性	65	36.9	41.5	21.5	15.4	13.8	4.6	32.3	4.6	4.6	7.7	23.1
	女性	113	22.1	33.6	26.5	8.0	8.0	0.9	14.2	5.3	0.9	7.1	31.0

■職業別 効果的な人権啓発活動

単位：%

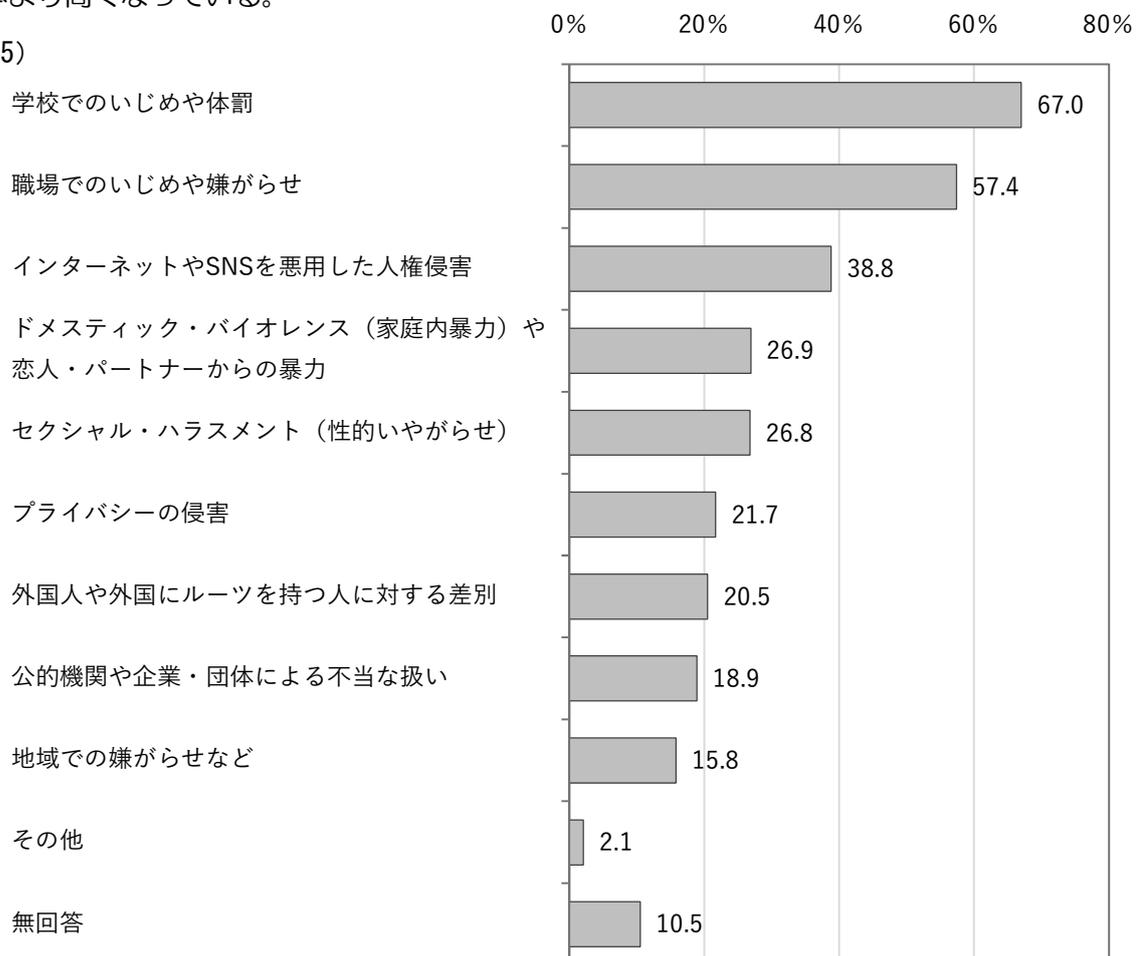
	n (人)	人権に関する講演会	人権に関するパンフレット、ポスター	人権に関するドラマや映画などの 作品上映や動画の視聴	人権についての街頭啓発	人権問題をテーマにしたパネル展示会	人権啓発のDVDの貸出	人権啓発冊子の発行、配布	人権問題に関する小説、作文などの募集
全 体	1865	31.2	38.7	41.3	10.9	10.4	3.8	21.3	7.9
給与生活者	675	28.1	36.4	43.0	11.6	7.1	3.3	17.8	6.2
自営業	100	23.0	41.0	35.0	16.0	8.0	3.0	19.0	10.0
有業主婦・主夫	232	36.2	40.5	51.3	7.3	11.6	2.6	22.8	9.5
専業主婦・主夫	228	38.6	45.6	46.9	10.1	9.6	4.4	22.8	7.9
年金生活者	351	32.8	37.9	29.9	11.4	15.7	5.4	26.2	7.7
学生	64	28.1	23.4	57.8	9.4	3.1	4.7	14.1	23.4
無職	107	23.4	36.4	30.8	9.3	15.0	2.8	20.6	5.6
その他	41	31.7	46.3	31.7	22.0	14.6	4.9	39.0	9.8
	n (人)	人権についての紙芝居	その他	無回答					
全 体	1865	7.9	10.7	12.4					
給与生活者	675	8.3	13.9	9.2					
自営業	100	5.0	14.0	9.0					
有業主婦・主夫	232	10.3	13.4	6.9					
専業主婦・主夫	228	7.9	6.1	10.5					
年金生活者	351	6.0	8.5	21.1					
学生	64	12.5	4.7	6.3					
無職	107	7.5	7.5	25.2					
その他	41	9.8	4.9	17.1					

問 26. あなたが今まで見聞きした人権侵害はどのようなものでしたか。

(あてはまるものをすべて選んで○)

- 見聞きしたことがある人権侵害については、「学校でのいじめや体罰」が67.0%と最も高く、次いで「職場でのいじめや嫌がらせ」(57.4%)、「インターネットやSNSを悪用した人権侵害」(38.8%)となっている。
- 性年齢(10歳刻み)別にみると、「10歳代女性」で「インターネットやSNSを悪用した人権侵害」が81.3%と8割を超え、全体より42.5ポイント高くなっている。
- 「20歳代女性」で「学校でのいじめや体罰」が86.4%と8割を超え、全体より19.4ポイント高くなっている。
- 「30歳代女性」で「学校でのいじめや体罰」が17.0ポイント、「ドメスティック・バイオレンス(家庭内暴力)や恋人・パートナーからの暴力」が14.1ポイント、「職場でのいじめや嫌がらせ」が13.6ポイント、それぞれ全体より高くなっている。
- 職業別にみると、「自営業」で「地域での嫌がらせなど」が26.0%と2割を超え、全体より10.2ポイント高くなっている。
- 「有業主婦・主夫(臨時社員・職員、パートなど)」で「学校でのいじめや体罰」が11.9ポイント、「職場でのいじめや嫌がらせ」が11.1ポイント、それぞれ全体より高くなっている。
- 「学生」で「インターネットやSNSを悪用した人権侵害」が25.3ポイント、「学校でのいじめや体罰」が11.1ポイント、「セクシャル・ハラスメント(性的いやがらせ)」が10.7ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

(n=1,865)



■性年齢（10歳刻み）別 見聞きしたことがある人権侵害

単位：%

		n (人)	学校でのいじめや体罰	職場でのいじめや嫌がらせ	公的機関や企業・団体による不当な扱い	地域での嫌がらせなど	セクシャル・ハラスメント（性的いやがらせ）	恋人・パートナー ドメスティック・バイオレンス（家庭内暴力）や	外国人や外国にルーツを持つ人に対する差別	インターネットやSNSを悪用した人権侵害	プライバシーの侵害	その他	無回答
全 体		1865	67.0	57.4	18.9	15.8	26.8	26.9	20.5	38.8	21.7	2.1	10.5
10 歳代	男性	14	64.3	35.7	35.7	14.3	42.9	21.4	35.7	57.1	35.7	0.0	21.4
	女性	16	75.0	50.0	37.5	12.5	50.0	43.8	25.0	81.3	31.3	0.0	6.3
20 歳代	男性	46	78.3	43.5	13.0	10.9	28.3	26.1	21.7	54.3	19.6	0.0	4.3
	女性	66	86.4	54.5	19.7	15.2	33.3	37.9	28.8	60.6	31.8	0.0	0.0
30 歳代	男性	67	77.6	61.2	22.4	14.9	35.8	25.4	22.4	41.8	19.4	1.5	4.5
	女性	100	84.0	71.0	14.0	19.0	42.0	41.0	24.0	52.0	30.0	2.0	2.0
40 歳代	男性	103	79.6	67.0	18.4	20.4	36.9	29.1	28.2	52.4	26.2	1.0	3.9
	女性	192	76.0	62.5	14.1	14.1	32.3	32.3	22.4	44.3	21.4	0.0	5.7
50 歳代	男性	133	69.2	64.7	27.1	18.0	27.8	24.8	18.8	42.1	22.6	3.0	6.0
	女性	216	77.3	69.9	18.1	14.4	33.8	30.1	25.9	38.9	22.2	0.9	3.2
60 歳代	男性	123	62.6	61.0	29.3	17.1	33.3	35.0	20.3	53.7	26.0	6.5	5.7
	女性	178	62.4	61.2	14.6	12.9	21.9	25.3	20.8	32.0	23.6	1.7	10.7
70 歳代	男性	134	47.8	50.0	20.9	19.4	10.4	10.4	17.2	23.1	17.9	3.0	14.2
	女性	194	53.1	48.5	16.0	14.4	13.4	21.6	12.4	22.7	12.4	2.1	21.6
80 歳以上	男性	65	41.5	21.5	13.8	20.0	9.2	12.3	15.4	20.0	13.8	7.7	30.8
	女性	113	50.4	36.3	17.7	12.4	11.5	15.0	9.7	17.7	16.8	1.8	31.0

■職業別 見聞きしたことがある人権侵害

単位：%

	n (人)	学校でのいじめや体罰	職場でのいじめや嫌がらせ	公的機関や企業・団体による不当な扱い	地域での嫌がらせなど	セクシャル・ハラスメント (性的いやがらせ)	ドメスティック・バイオレンス (家庭内暴力) や恋人・パートナーからの暴力	外国人や外国にルーツを持つ人に対する差別	インターネットやSNSを悪用した人権侵害
全 体	1865	67.0	57.4	18.9	15.8	26.8	26.9	20.5	38.8
給与生活者	675	73.9	64.1	19.1	15.0	33.6	30.8	23.1	44.7
自営業	100	64.0	54.0	24.0	26.0	28.0	29.0	22.0	42.0
有業主婦・主夫	232	78.9	68.5	15.9	15.9	32.3	34.9	25.0	42.2
専業主婦・主夫	228	70.2	56.6	13.2	13.2	22.8	26.8	18.0	32.5
年金生活者	351	49.0	45.3	19.9	14.5	15.7	16.8	12.8	25.6
学生	64	78.1	37.5	28.1	12.5	37.5	31.3	28.1	64.1
無職	107	57.9	48.6	21.5	15.9	17.8	21.5	15.9	31.8
その他	41	58.5	53.7	17.1	24.4	22.0	17.1	17.1	46.3
	n (人)	プライバシーの侵害	その他	無回答					
全 体	1865	21.7	2.1	10.5					
給与生活者	675	23.4	1.8	5.2					
自営業	100	19.0	2.0	7.0					
有業主婦・主夫	232	25.0	1.7	3.0					
専業主婦・主夫	228	14.9	0.0	12.3					
年金生活者	351	18.5	3.4	24.5					
学生	64	29.7	0.0	6.3					
無職	107	22.4	4.7	16.8					
その他	41	29.3	2.4	7.3					

施策に向けての一言 <人権問題について>

2018年度に、西宮市では『第2次西宮市人権教育・啓発に関する基本計画』が策定された。近年では、「LGBTQ」に関する議論も活発に行われるなど、人権問題については、これまで以上に積極的に議論と検討を進めていく必要がある。

そこで、自身の身の回りで人権が尊重されているかという認識について調査した結果を見ると（問22）、「そう思う（非常に＋少し）」と回答した人の割合は4割程度であり、依然として、人権が尊重されていると思っているわけではない人が多い現状であることが判明した。この結果は、人権に関するさらなる啓発活動を行う必要があることを示すものである。

具体的にどのような人権問題に関心を持っているかを調査した結果を見ると（問23）、「子どもの人権（48%）」「高齢者の人権（46%）」「障がいのある人の人権（47%）」について関心ありとした人が多い。「インターネット上の人権侵害（42%）」についても、関心がある人は相対的に多いようだ。他方で「コロナウイルスに関する人権（17%）」や「性的少数者（LGBTQ など）の人権（20%）」といった、比較的新しい問題については選択率が低いという結果となった。従来問題にくわえて、新しいがゆえに十分な注意が払われているわけではないが重要な人権問題についても啓発していく必要があることが、これらの結果から明らかとなっている。実際に年齢とクロスした結果を確認すると、高齢になるほど「性的少数者の人権」に関心を持っていると回答する人の割合が小さくなる。この傾向は、高齢になるほど、新しい人権問題に対する認知度が低くなるために生じるものと考えられる。具体的な啓発対象を検討する際にも、この分析結果は有用であるように思われる。

近年、問題視されることの多いインターネット上の人権問題について、より詳しく調査した結果が問24である。「誹謗中傷（79%）」に関連する問題への関心が最も高く、次いで「プライバシー侵害（55%）」「差別（43%）」という順になっている。ソーシャル・ネットワーキング・サービス上では、多くの人が誹謗中傷の被害を被っており、そのような現状があることから、このような結果になったものと考えられる。

効果的な人権啓発活動について調査した結果を見ると（問25）、「ドラマや映画などの視聴（41%）」「パンフレットやポスター（39%）」「講演会（31%）」といった手法を選択する人が多い。ただし年齢により傾向は異なっており、ドラマなどが効果的と回答する傾向は若年層に強く、高齢層はパンフレットの配布や冊子の発行など、従来型の紙媒体での啓発活動を効果的と認識している。若年層を対象とする人権啓発の場合は、パンフレットなどよりも動画コンテンツの方が、より高い効果を見込むことができるだろう。

（関西学院大学 善教将大）

阪神・淡路大震災犠牲者追悼行事について

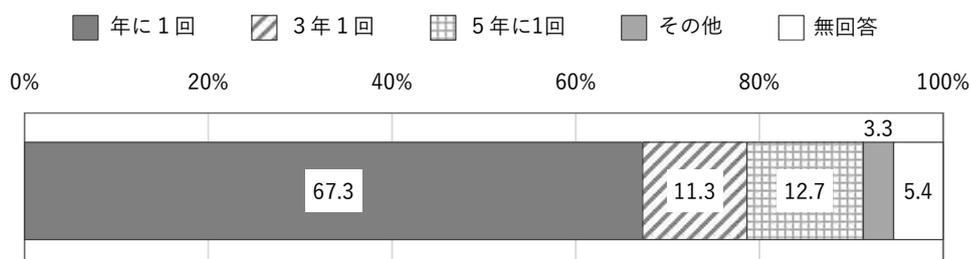
西宮市では、阪神・淡路大震災により犠牲となられた方々に、ご遺族や市民の方が哀悼の気持ちを捧げていただけるよう、毎年1月17日に西宮震災記念碑公園で追悼行事を実施しています。

新型コロナウイルス感染拡大の影響からここ数年は記帳所設置を見送るなど一部簡略化しましたが、数年後には震災から30年を迎えます。今後の追悼行事のあり方について、この調査結果および県や近隣他市の動向も含めて参考にしたいと考えています。

問 27. あなたは、「震災追悼行事」の実施について、どのくらいの頻度がよいと思いますか。
(1つ選んで○)

- 「震災追悼行事」の望ましい実施頻度については、「年に1回」が67.3%と最も高く、次いで「5年に1回」が12.7%となっている。
- 性年齢（10歳刻み）別にみると、「20歳代女性」で「1年に1回」が86.4%と8割を超え、全体より19.1ポイント高くなっている。
- 一方で、「70歳代男性」で「5年に1回」が21.6%と2割を占め、全体より8.9ポイント高くなっている。

(n=1,865)



■性年齢（10歳刻み）別 「震災追悼行事」の望ましい実施頻度

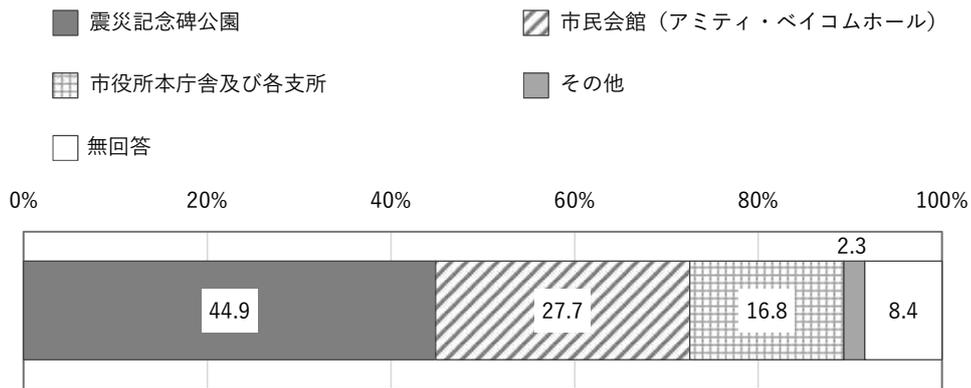
単位：%

		n (人)	1 年 に 1 回	3 年 に 1 回	5 年 に 1 回	そ の 他	無 回 答
全 体		1865	67.3	11.3	12.7	3.3	5.4
10 歳 代	男性	14	71.4	7.1	14.3	0.0	7.1
	女性	16	81.3	6.3	12.5	0.0	0.0
20 歳 代	男性	46	84.8	2.2	8.7	0.0	4.3
	女性	66	86.4	7.6	3.0	1.5	1.5
30 歳 代	男性	67	65.7	14.9	16.4	0.0	3.0
	女性	100	74.0	8.0	11.0	3.0	4.0
40 歳 代	男性	103	68.9	14.6	7.8	3.9	4.9
	女性	192	72.4	10.9	12.5	1.0	3.1
50 歳 代	男性	133	74.4	8.3	13.5	2.3	1.5
	女性	216	68.5	11.1	12.0	4.2	4.2
60 歳 代	男性	123	66.7	4.9	15.4	10.6	2.4
	女性	178	69.7	14.6	9.6	2.2	3.9
70 歳 代	男性	134	61.2	11.9	21.6	0.7	4.5
	女性	194	62.4	11.9	9.8	5.2	10.8
80 歳 以 上	男性	65	56.9	15.4	15.4	3.1	9.2
	女性	113	53.1	17.7	11.5	4.4	13.3

問 28. 「震災追悼行事」の実施場所について望ましいと思うのはどれですか。(1つ選んで〇)

- 「震災追悼行事」の望ましい実施場所については、「震災記念碑公園」が44.9%と最も高く、次いで「市民会館（アミティ・ベイコムホール）」(27.7%)となっている。
- 性年齢（10歳刻み）別にみると、「10歳代女性」で「震災記念碑公園」が68.8%と7割近くを占め、全体より23.9ポイント高くなっている一方で、「80歳以上女性」では27.4%と3割未満となっており、全体より17.5ポイント低くなっている。
- 市内居住年数別にみると、「3年未満」で「震災記念碑公園」が13.6ポイント、「6年以上～10年未満」で「震災記念碑公園」が16.1ポイント、「市役所本庁舎及び各支所」が6.1ポイント、それぞれ全体より高くなっている。
- エリア別にみると、「エリア①」で「震災記念碑公園」が54.8%と5割を超え、全体より9.9ポイント高くなっている一方で、「エリア③」で「市民会館（アミティ・ベイコムホール）」が34.3%と3割を超え、全体より6.6ポイント高くなっている。

(n=1,865)



■性年齢（10歳刻み）・市内居住年数別 「震災追悼行事」の望ましい実施場所

単位：％

		n (人)	震災記念碑公園	市民会館 (アミテイ・ベイコムホール)	市役所本庁舎及び各支所	その他	無回答		
全 体		1865	44.9	27.7	16.8	2.3	8.4		
性年齢（10歳刻み）別	10歳代	男性	14	64.3	14.3	14.3	0.0	7.1	
		女性	16	68.8	25.0	6.3	0.0	0.0	
	20歳代	男性	46	54.3	19.6	19.6	0.0	6.5	
		女性	66	60.6	25.8	10.6	0.0	3.0	
	30歳代	男性	67	50.7	20.9	20.9	3.0	4.5	
		女性	100	51.0	23.0	18.0	1.0	7.0	
	40歳代	男性	103	50.5	21.4	20.4	1.0	6.8	
		女性	192	49.5	24.0	17.2	2.1	7.3	
	50歳代	男性	133	39.1	31.6	21.8	3.8	3.8	
		女性	216	49.1	28.7	12.5	3.2	6.5	
	60歳代	男性	123	35.0	29.3	22.0	4.9	8.9	
		女性	178	43.8	35.4	12.4	0.0	8.4	
	70歳代	男性	134	47.8	29.9	14.9	1.5	6.0	
		女性	194	38.1	28.4	16.5	2.1	14.9	
	80歳以上	男性	65	47.7	23.1	15.4	6.2	7.7	
		女性	113	27.4	31.9	18.6	1.8	20.4	
	市内居住年数別	3年未満		106	58.5	14.2	15.1	2.8	9.4
		3年以上～6年未満		113	44.2	23.0	19.5	3.5	9.7
6年以上～10年未満		105	61.0	8.6	22.9	1.9	5.7		
10年以上～20年未満		346	47.1	26.3	17.6	1.2	7.8		
20年以上		1163	41.4	31.6	16.1	2.5	8.3		

■エリア別 「震災追悼行事」の望ましい実施場所

単位：%

	n (人)	震災記念碑公園	市民会館 (アミティ・ベイコムホール)	市役所本庁舎及び各支所	その他	無回答
全 体	1865	44.9	27.7	16.8	2.3	8.4
エリア①	157	54.8	15.3	15.9	3.2	10.8
エリア②	879	48.6	25.1	15.9	2.0	8.3
エリア③	714	38.9	34.3	17.4	2.5	6.9

※エリア別集計については、各場所の距離の遠近による回答の特徴を分析するため、便宜的に下記の3つに分けたものである。

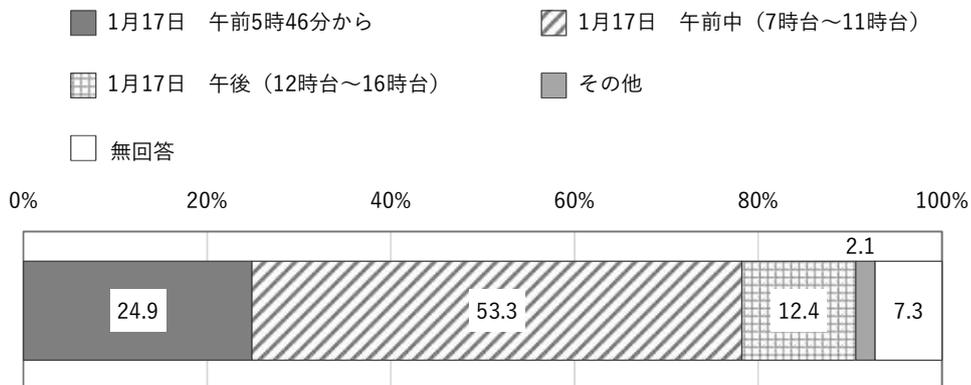


問 29. 「震災追悼行事」を開始する時間帯について望ましいと思うのはどれですか。

(1つ選んで○)

- 「震災追悼行事」の望ましい開始時間については、「1月17日 午前中(7時台~11時台)」が53.3%と最も高く、次いで「1月17日 午前5時46分から」(24.9%)となっている。
- 性年齢(10歳刻み)別にみると、「20歳代男性」で「1月17日 午前5時46分から」が39.1%と4割近くを占め、全体より14.2ポイント高くなっている。
- 「30歳代男性」で「1月17日 午前中(7時台~11時台)」が61.2%と6割を超え、全体より7.9ポイント高くなっている。
- 市内居住年数別にみると、「3年以上~6年未満」で「1月17日 午前中(7時台~11時台)」が61.1%と6割を超え、全体より7.8ポイント高くなっている。

(n=1,865)



■性年齢（10歳刻み）・市内居住年数別 「震災追悼行事」の望ましい開始時間

単位：％

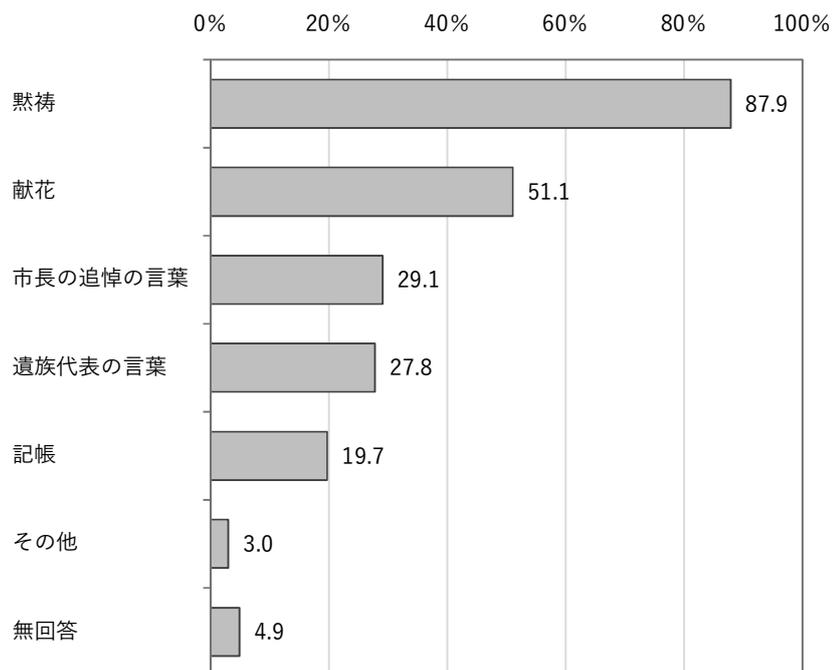
		n (人)	1月17日 午前5時46分 から	1月17日 午前中 (7時台～ 11時台)	1月17日 午後 (12時台～ 16時台)	その他	無回答		
全 体		1865	24.9	53.3	12.4	2.1	7.3		
性 年 齢 （ 10 歳 刻 み ） 別	10 歳 代	男性	14	28.6	21.4	35.7	0.0	14.3	
		女性	16	25.0	43.8	31.3	0.0	0.0	
	20 歳 代	男性	46	39.1	47.8	6.5	0.0	6.5	
		女性	66	19.7	54.5	24.2	1.5	0.0	
	30 歳 代	男性	67	20.9	61.2	11.9	0.0	6.0	
		女性	100	23.0	56.0	12.0	3.0	6.0	
	40 歳 代	男性	103	31.1	51.5	9.7	3.9	3.9	
		女性	192	23.4	56.3	10.9	2.1	7.3	
	50 歳 代	男性	133	33.1	46.6	13.5	3.8	3.0	
		女性	216	31.5	50.9	10.6	2.8	4.2	
	60 歳 代	男性	123	24.4	54.5	12.2	1.6	7.3	
		女性	178	23.0	58.4	11.2	0.6	6.7	
	70 歳 代	男性	134	25.4	55.2	12.7	0.0	6.7	
		女性	194	18.0	57.7	8.8	2.6	12.9	
	80 歳 以 上	男性	65	18.5	53.8	12.3	4.6	10.8	
		女性	113	23.9	43.4	12.4	1.8	18.6	
	市 内 居 住 年 数 別	3年未満		106	23.6	53.8	16.0	0.9	5.7
		3年以上～6年未満		113	17.7	61.1	13.3	2.7	5.3
6年以上～10年未満		105	26.7	56.2	9.5	2.9	4.8		
10年以上～20年未満		346	25.1	52.0	13.3	2.0	7.5		
20年以上		1163	25.2	52.6	12.3	2.1	7.7		

問 30. 「震災追悼行事」の内容について、必要だと思うものはどれですか。

(あてはまるものをすべて選んで○)

- 「震災追悼行事」の内容で必要だと思うものについては、「黙祷」が87.9%と最も高く、次いで「献花」(51.1%)、「市長の追悼の言葉」(29.1%)となっている。
- 性年齢(10歳刻み)別にみると、「10歳代女性」・「20歳代女性」で「献花」が7割近くを占め、全体より20ポイント弱高くなっている。

(n=1,865)



■性年齢（10歳刻み）別 「震災追悼行事」の内容で必要だと思うもの

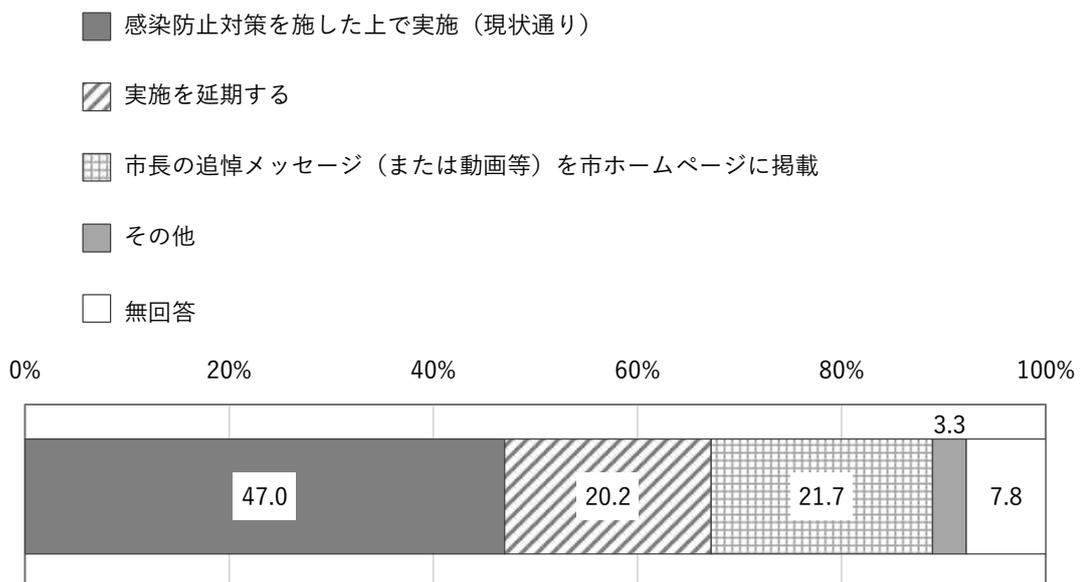
単位：%

		n (人)	黙 禱	市 長 の 追 悼 の 言 葉	遺 族 代 表 の 言 葉	記 帳	献 花	そ の 他	無 回 答
全 体		1865	87.9	29.1	27.8	19.7	51.1	3.0	4.9
10 歳 代	男性	14	78.6	42.9	50.0	35.7	57.1	7.1	7.1
	女性	16	87.5	18.8	37.5	12.5	68.8	0.0	0.0
20 歳 代	男性	46	89.1	26.1	23.9	19.6	56.5	4.3	8.7
	女性	66	93.9	24.2	28.8	19.7	69.7	1.5	1.5
30 歳 代	男性	67	95.5	34.3	23.9	17.9	55.2	1.5	3.0
	女性	100	87.0	21.0	32.0	10.0	58.0	2.0	4.0
40 歳 代	男性	103	88.3	22.3	26.2	23.3	43.7	4.9	3.9
	女性	192	88.5	22.9	23.4	14.6	56.8	5.2	4.7
50 歳 代	男性	133	87.2	36.1	29.3	16.5	46.6	3.0	5.3
	女性	216	93.5	28.2	30.1	20.4	52.3	3.7	2.8
60 歳 代	男性	123	88.6	35.8	36.6	22.0	44.7	3.3	4.9
	女性	178	88.8	32.0	31.5	24.7	56.2	0.6	2.8
70 歳 代	男性	134	85.8	35.1	27.6	27.6	53.0	1.5	5.2
	女性	194	85.6	30.9	23.7	21.1	47.9	3.1	7.2
80 歳 以 上	男性	65	83.1	30.8	27.7	23.1	40.0	3.1	6.2
	女性	113	78.8	29.2	24.8	19.5	36.3	3.5	10.6

問31. コロナ禍などパンデミックや大規模災害発生時などの「震災追悼行事」の実施についてどう思いますか。(1つ選んで○)

- パンデミックや大規模災害発生時などの「震災追悼行事」の実施については、「感染防止対策を施した上で実施（現状通り）」が47.0%と最も高く、次いで「市長の追悼メッセージ（または動画等）を市ホームページに掲載」（21.7%）となっている。
- 性年齢（10歳刻み）別にみると、「10歳代男性」で「感染防止対策を施した上で実施（現状通り）」が71.4%と7割を超え、全体より24.4ポイント高くなっている。
- 一方で、「70歳代男性」で「実施を延期する」が28.4%と3割近くを占め、全体より8.2ポイント高くなっている。

(n=1,865)



■性年齢（10歳刻み）別 パンデミックや大規模災害発生時などの「震災追悼行事」の実施

単位：%

		n (人)	感染防止対策を施した上で 実施（現状通り）	実施を延期する	市長の追悼メッセージ （または動画等）を 市ホームページに掲載	その他	無回答
全 体		1865	47.0	20.2	21.7	3.3	7.8
10 歳代	男性	14	71.4	0.0	14.3	0.0	14.3
	女性	16	56.3	6.3	37.5	0.0	0.0
20 歳代	男性	46	69.6	6.5	17.4	2.2	4.3
	女性	66	56.1	13.6	22.7	4.5	3.0
30 歳代	男性	67	50.7	22.4	17.9	4.5	4.5
	女性	100	50.0	19.0	24.0	2.0	5.0
40 歳代	男性	103	49.5	19.4	19.4	2.9	8.7
	女性	192	46.4	17.2	27.1	4.2	5.2
50 歳代	男性	133	59.4	15.8	15.0	4.5	5.3
	女性	216	40.3	20.4	29.6	3.7	6.0
60 歳代	男性	123	52.8	17.9	19.5	4.9	4.9
	女性	178	37.6	22.5	30.3	5.1	4.5
70 歳代	男性	134	50.7	28.4	11.2	0.7	9.0
	女性	194	37.1	24.7	21.1	2.1	14.9
80 歳以上	男性	65	49.2	23.1	13.8	1.5	12.3
	女性	113	42.5	24.8	11.5	1.8	19.5

施策に向けての一言 <阪神・淡路大震災犠牲者追悼行事について>

2022年度の『西宮市民意識調査』では、今後の阪神・淡路大震災犠牲者追悼行事（以下「追悼行事」）のあり方を検討していくために、追悼行事の頻度、実施場所、実施の時間帯などへの意識を調査した。間もなく震災から30年を迎えることや、「コロナ禍」が依然として続いている現状を勘案すれば、追悼行事への意識を明らかにすることは重要である。

まず、追悼行事の実施頻度について調査した結果（問27）を確認すると、「年に1回」を選択している人が大半であった。「3年に1回」「5年に1回」を選択している人もいたが、両者の選択割合を合計しても3割に満たない。ただし、年齢との関係を確認すると、高齢になるほど「年に1回」の選択割合が小さくなる。この点を踏まえるならば、頻度としては「年に1回」を望ましいと考える人が多数ではあり、よって「年に1回」程度が望ましいが、その場合は高齢者など身体的な事情等により追悼行事に参加しづらい人がどうすれば参加しやすくなるかについて、別途検討すべきということになるだろう。

感染拡大期における行事のあり方を尋ねた調査結果（問31）を見ると、現状の「感染対策を施した上で実施」を選んでいる回答者は半数程度しかいない。感染拡大期に行事をどうするかという点についても、引き続き、検討する必要がある。非対面でのセレモニーの可能性など、多角的にこの問題については検討する必要がある。

高齢者など参加しづらい人が参加しやすくするためには、追悼行事を行う場所や時間帯を変更する必要があるかもしれない。そこで、追悼行事の実施場所について調査した結果を確認すると（問28）、「震災記念碑公園（45%）」の選択割合が最も高いものの、「市民会館（アミティ・ベイコムホール）」や「市役所本庁舎」の選択割合もやや高めの値であり、両者を合計すると45%となる。この値は「震災記念碑公園」の選択割合と、ほとんど変わらない。さらにいえば、高齢になるほど「震災記念碑公園」以外の選択肢を選択する傾向が顕著になる。エリア別に分けた結果を見ても、追悼行事を行う場所がどのくらい近いかが重視されていることがわかる。場所を変更することについても検討すべきであることを、これらの結果は示していると言える。

上記に加えて、追悼行事の望ましい開始時間について調査した結果を見ると（問29）、「午前中（7時台～11時台）」が最も選択率が高く、逆に現在の「午前5時46分から」の選択率は25%程度と、それほど高くない結果となった。これらの結果から、多くの人が、現在の時刻を早いと考えていること、また、別の時間帯に変更することにそれほど強い拒否感を抱いていないことがわかる。追悼行事の場所だけではなく開始時刻についても、検討する余地がある。

（関西学院大学 善教将大）

IV 自由意見

IV 自由意見

■主な自由回答意見

- 643 人の回答者が自由意見を記述しており、意見の内容は 1,032 件となった。意見内容を整理すると、次の通りである。

景観・環境		68
街路樹等の整備・管理について	26	
自然環境の保全について	22	
川の整備・検査について	9	
路上喫煙・歩きタバコについて	8	
動物の排泄物について	3	
<hr/>		
廃棄物・ゴミ		53
ごみ処理・収集・カラス対策について	25	
指定のゴミ袋について（値段を下げてほしい、廃止してほしい等）	22	
ゴミ捨てるのマナーについて	3	
その他	3	
<hr/>		
まちづくり・住まいの環境		74
住みよいまちとの評価	34	
より良いまちづくりに向けてのご意見	22	
文教住宅都市に対するご意見	7	
子どもを育てやすいまちづくりへのご意見	5	
高齢者が暮らしやすいまちづくりへのご意見	4	
障害者に優しいまちづくりへのご意見	2	
<hr/>		
公園		27
公園の充実について	14	
公園や公園設備の整備・管理について	13	
<hr/>		
計画・開発		9
駅の整備・開発について	9	

雇用		6
高齢者の雇用について	4	
ハローワークについて	2	
交通		85
バスの運行について	23	
マナー向上について	12	
高齢者の外出支援について	11	
交通利便性の向上について	10	
自転車整備について	9	
南北の移動について	8	
歩道整備について	8	
路上・迷惑駐車について	4	
道路		41
道路整備について	32	
通学路の安全について	5	
信号機について	4	
施設		70
病院について	13	
図書館について	10	
子どもの遊び場について	7	
商業施設について	7	
保育園について	6	
市営住宅について	6	
高齢者施設について	5	
体育館について	4	
墓地について	4	
美術館・音楽ホール等について	2	
市民会館、公民館について	2	
甲子園球場の活用について	1	
その他	3	

教育		29
環境整備について	14	
不登校について	6	
その他	9	
健康・福祉		124
子育て支援の充実について	67	
高齢者支援について	22	
医療整備について	11	
待機児童の解消について	8	
各種保険料について	6	
障害福祉について	5	
その他	5	
防災・防犯		16
防災対策について	11	
防災マイク、ラジオについて	3	
防犯カメラ、街灯について	2	
コミュニティ		11
自治会について	7	
コミュニティ紙について	4	
選挙・議会・議員		8
議員数の適正化について	5	
議員への要望について	3	
人権		16
人権教育について	4	
障害者への差別について	3	
年齢の差別について	2	
同和問題について	2	
外国人への差別・共生について	2	
逆差別について	2	
学校でのハラスメントについて	1	

追悼行事		8
追悼の対応について	6	
その他	2	
市政		296
市政への要望について	58	
市長への要望について	28	
税金について	21	
広報・PRについて	18	
市への感謝について	17	
市への応援・ねぎらいのお言葉	12	
市の窓口対応について	11	
市政への評価について	11	
水道について	9	
南北格差について	9	
市政ニュースについて	8	
各給付金について	8	
住民税について	7	
デジタル化について	6	
相談対応・窓口について	5	
動物保護・殺処分について	4	
各種申請について	4	
ホームページについて	3	
職員の給与、福利厚生について	3	
デジタル弱者について	3	
生活保護について	3	
各種支援について	2	
市民サービスについて	4	
その他	6	
ワクチン対応について	10	
医療体制・感染時対応について	7	
ワクチンに関する各種支援について	6	
感染対策へのご意見	4	
コロナ禍の教育について	2	
その他	7	

市民意識調査		54
回答への補足	36	
質問項目への疑義	7	
ICTの活用について	3	
その他	8	
その他		37
特になし	16	
その他	21	

V 使用した調査票

V 使用した調査票



明日のまちづくりにあなたの声を

西宮市民意識調査

令和4年度
(2022年度)

市民のみなさまには、日頃から市政にご理解、ご協力をいただき、ありがとうございます。

この市民意識調査は、みなさまの声を明日の西宮市のまちづくりに反映させるため毎年行っている重要な調査です。今回の調査では「119番通報、救急車の利用」「西宮に対する思い」「人権問題」「阪神・淡路大震災犠牲者追悼行事」について、率直なご意見をおうかがいし、今後の市政推進のための資料とさせていただきます。

なお、この調査では、市内在住の18歳以上の市民のみなさまの中から無作為に3,500人の方々を選ばせていただいております。調査結果は、統計的に処理されますので、あなたの回答が公表されることはありません。また、調査結果の概要は、3月中旬頃に市ホームページに掲載するほか、次の場所で閲覧いただける予定です（市役所本庁舎、各支所、市民サービスセンター、アクタ西宮ステーション、各図書館、公民館）。

まことに恐縮ですが、調査の趣旨をご理解の上、9月30日（金）までにご回答いただきますよう、ご協力をお願い申し上げます。

令和4年（2022年）9月

- 質問ごとにお願している方法に従って、あてはまる数字に○をつけたり、具体的な内容を枠内に記入して、お答えください。答えたくない質問や答えにくい質問は、回答せず、次の質問へお進みください。
- 調査についてのお問い合わせは 市民相談課（0798）35-3100へお願いします。

西宮市長
石井登志郎

お答えいただく方について

問 1. お住まいのコミュニティ（お送りした封筒のお名前）の右下の番号と地域名）をご記入ください。

コミュニティ番号	コミュニティ名
例： 1	例： 香爐園

問 2. あなたの性別

1. 男性 2. 女性 3. その他

問 3. 令和4年（2022年）9月1日現在のあなたの年齢

- | | |
|------------|-----------|
| 1. 18歳・19歳 | 6. 60～64歳 |
| 2. 20～29歳 | 7. 65～69歳 |
| 3. 30～39歳 | 8. 70～79歳 |
| 4. 40～49歳 | 9. 80歳以上 |
| 5. 50～59歳 | |

問 4. あなたの職業

- | | |
|---------------------------|----------|
| 1. 給与生活者（勤めている） | 5. 年金生活者 |
| 2. 自営業 | 6. 学生 |
| 3. 有業主婦・主夫（臨時社員・職員、パートなど） | 7. 無職 |
| 4. 専業主婦・主夫 | 8. その他 |

問 5. あなたを含めて、同居されているご家族の人数

- | | | |
|-------|-------|---------|
| 1. 1人 | 3. 3人 | 5. 5人 |
| 2. 2人 | 4. 4人 | 6. 6人以上 |

問 6. 同居されているご家族の構成

1. 単身（ひとり暮らし）
2. 夫婦のみ
3. 夫婦とその未婚の子ども
4. 父親または母親とその未婚の子ども
5. 息子世帯または娘世帯と同居
6. その他（_____）

問 7. あなたのお住まいの種別

1. 持ち家（一戸建て、長屋建て）
2. 持ち家（マンションなどの集合住宅）
3. 公営・公社・都市再生機構（UR）などの賃貸住宅
4. 民間の賃貸住宅・マンション、間借り
5. 社宅・寮など
6. その他（_____）

問 8. 西宮市には通算して何年間住んでいますか。

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 3年未満 | 4. 10年以上～20年未満 |
| 2. 3年以上～6年未満 | 5. 20年以上 |
| 3. 6年以上～10年未満 | |

問 9. 現在の場所には、何年間住んでいますか。

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 3年未満 | 4. 10年以上～20年未満 |
| 2. 3年以上～6年未満 | 5. 20年以上 |
| 3. 6年以上～10年未満 | |

問 10. あなたのご家庭の暮らし向きについて、どのように感じていますか。

- | | |
|------------|------------|
| 1. かなり上のほう | 4. 少し下のほう |
| 2. 少し上のほう | 5. かなり下のほう |
| 3. ふつう | |

人権問題について

西宮市では、平成30年度（2018年度）に第2次西宮市人権教育・啓発に関する基本計画を策定しました。その後、新型コロナウイルス感染症に関する差別などが新たな人権課題として認識され、SNS等での誹謗・中傷等の人権問題も拡大しております。そこで、市民のみなさまのご意見をうかがい、今後の人権啓発活動に役立てたいと考えています。

問 20. すべての方にお聞きします。

あなたは、西宮でまちをよくするため活動している人たちに対して「ありがとう」と思う気持ちがどの程度ありますか。「とてもありがとう」と思う場合は10、全く思わない場合は0としてください。（数字を1つ選んで○）

← 思わない 思う →

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

問 21. 市では、西宮の魅力や市政情報を伝える媒体として「市からのお知らせ」を次のような方法でお届けしています。あなたは、これらをどの程度利用（読む、見る、聴くなど）されていますか。（ア～コのそれぞれについてあてはまるものを1つ選んで○）

	よく利用している	時々利用している	知っているが利用していない	あるのを知らなかった
ア 広報紙「市政ニュース」	1	2	3	4
イ 広報掲示板（市内各所設置）	1	2	3	4
ウ 市ホームページ	1	2	3	4
エ 市民べんり帳	1	2	3	4
オ 市発行のチラシやパンフレット	1	2	3	4
カ 市公式Twitter（ツイッター）	1	2	3	4
キ 市公式Facebook（フェイスブック）	1	2	3	4
ク 市公式LINE（ライン）	1	2	3	4
ケ ケーブルテレビの市広報番組「フロムにのみや」	1	2	3	4
コ ラジオ「さくらFM」	1	2	3	4

問 22. あなたは、身の回りで人権が尊重されていると思いますか。（1つ選んで○）

- 1. 非常にそう思う
- 2. 少しそう思う
- 3. どちらともいえない
- 4. あまりそう思わない
- 5. 全くそう思わない

問 23. 日本の社会には人権にかかわる色々な問題がありますが、あなたが関心を持っているものは何ですか。（あてはまるものをすべて選んで○）

- 1. 女性に関する問題
- 2. 子どもに関する問題
- 3. 高齢者に関する問題
- 4. 障害のある人に関する問題
- 5. 同和問題
- 6. 外国人や外国にルーツを持つ人に関する問題
- 7. インターネットの匿名性を悪用した人権侵害の問題
- 8. コロナウイルス感染症陽性者への差別に関する問題
- 9. LGB T Qなど性的少数者に関する問題
- 10. パワーハラスメントなど優越的な立場を悪用した人権侵害の問題
- 11. その他（具体的に_____）

問 24. インターネットやSNS（例：ツイッター、インスタグラムなど）を悪用した人権侵害について、あなたが関心を持っているものはどのようなことですか。（あてはまるものをすべて選んで○）

- 1. 他人へのひどい悪口（誹謗中傷）や差別的表現
- 2. 性的な画像などを相手の同意を得ることなく公開すること
- 3. 捜査対象の未成年の名前・顔写真を掲載すること
- 4. 第三者が無断で他人の電子メールを閲覧すること
- 5. 差別を助長するような情報を掲載すること
- 6. 他人のプライバシーに関する情報を掲載すること
- 7. ストーカー行為
- 8. その他（具体的に_____）

問 25. あなたは、効果的な人権啓発活動はどのようなものだと思いますか。（あてはまるものをすべて選んで○）

- 1. 人権に関する講演会
- 2. 人権に関するパンフレット、ポスター
- 3. 人権に関するドラマや映画などの作品上映や動画の視聴
- 4. 人権についての街頭啓発
- 5. 人権問題をテーマにしたパネル展示会
- 6. 人権啓発のDVDの貸出
- 7. 人権啓発冊子の発行、配布
- 8. 人権問題に関する小説、作文などの募集
- 9. 人権についての紙芝居
- 10. その他（具体的に_____）

令和4年度（2022年度）
西宮市民意識調査

●発行

令和5年（2023年）2月

西宮市 政策局 市長室 市民相談課

西宮市六湛寺町10番3号

TEL : 0798-35-3100

<http://www.nishi.or.jp/>

